



動画ディスプレイ

DP-V2410

使用説明書

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。また、この使用説明書はいつでも
ご覧になれるよう、大切に保管してください。

日本語

目次

はじめに	4
本書について	4
商標	4
規格	4
付属品の確認	4
安全上のご注意	5
取り扱い上のご注意	9
本機の特長	10
各部名称	11
設置／接続のしかた	13
本機の持ち運びかた	13
保護板の取り付けかた	13
スタンドの取りはずしかた、取り付けかた	14
転倒・落下防止の処置をする	15
本機をスタンドや壁に取り付ける	16
本機と入力機器を接続する	17
電源の入れかた	19
本機の電源を入れる	19
操作のしかた	20
ジョグダイヤルの操作のしかた	20
OSDメニューの基本操作	20
映像全体を見ながら画質を調整する	22
調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定)	23
ズーム表示を調整する	23
画面の右側／左側の画質を調整する(画質比較モード)	24
PCレスでキャリブレーションする	24
エクスポート／インポートする	26
日時を設定する	28
文字を入力する	29
ファンクション(F)ボタンを使う	29
チャンネル(CH)ボタンを使う	30
信号情報や本機の状態を確認する	30
外部機器を使って本機を操作する LAN端子	31
OSDメニュー	32
OSDメニューインデックス	32
画質設定	38
チャンネル設定	48
ディスプレイ設定	52
オーディオ設定	55
マーカー設定	56
ファンクション設定	61
システム設定	70
シグナルインフォメーション	76

システムインフォメーション	76
主な仕様／性能	77
外形寸法	79
付録	80
対応信号フォーマット	80
画像・フレーム表示	94
エラーメッセージ	97
こんなときは	99
保証書とアフターサービス	101
修理について	102
本機で使用しているソフトウェアについて	103
索引	106

はじめに

このたびは、動画ディスプレイDP-V2410をご購入いただき、誠にありがとうございます。

ご購入時、本機のOSD(On Screen Display)メニューや表示されるメッセージは、英語表記になっています。必要に応じて、OSDメニューで言語を切り換えてください(70)。

本書について

本書では、見やすくするために加工した画面を一部、使用しています。

本文中の表記

📖：参照ページを示します。

📝 メモ：知っておいていただきたいことを示します。

📌 参考：参考情報を示します。

🚫 ご注意：守っていただきたいことを示します。

商標

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- VESAは、Video Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

規格

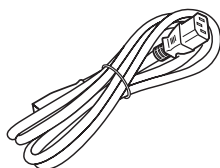
この装置はクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

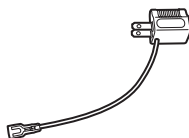
本機はJIS C 61000-3-2適合品です。

付属品の確認

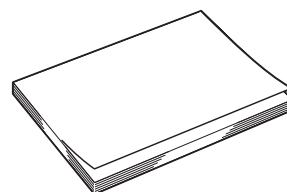
本機には、次の物が付属されています。ご使用になる前にお確かめください。



AC電源コード HT-20



電源プラグアダプター PU-01
(二芯変換アダプター)



DP-V2410使用説明書(本書)

安全上のご注意

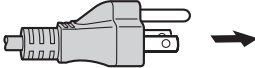
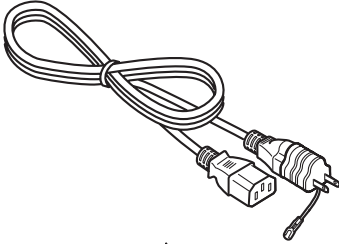
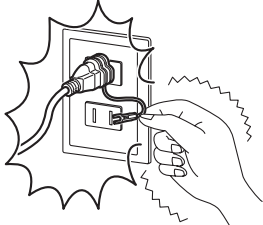
安全上の注意を表す記号

本書で使用している記号について説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次の記号を使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または重症を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、火災の発生が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 禁止  接触禁止  分解禁止  ぬれ手禁止  水濡れ禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為(禁止事項)を示しています。
 アース線を 接続する  電源プラグ を抜く	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。
	この記号は、必ず実行していただく指示の内容を示しています。

 警告	
  	ディスプレイを分解・改造しないでください。 内部には高電圧・高温・可動部があり、火災や感電、やけど、けがの原因となります。内部の点検・整備は販売店にご依頼ください。
  	異物を入れないでください。液体を置かないでください。 本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、販売店にご相談ください。
  	正しい電源電圧で使用してください。 指定の電源電圧以外で使用すると火災や感電の原因となります。 本製品付属(指定)のAC電源コードをご使用ください。また、このAC電源コードは、安全のため他の機器には使用できません。
  	DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけないでください。 DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけると火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 警告

	次のような場所で使用しないでください。 火災や感電、故障の原因となります。 • 雨天や積雪中の窓際 • 湿気やほこりの多い場所 • 水滴のかかる場所。浴室、水場など • 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く • 可燃性ガスのある環境 • 直射日光の当たる場所
	直射日光の当たる場所に設置・保管しないでください。 内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
	電源コードを傷つけないでください。 電源コードに重い物をのせる、引っ張る、加工する、加熱する、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損(芯線の露出、断線など)し、火災や感電の原因となります。
	アース付き3ピンプラグの場合 アースを接続してください。 アースが接続されないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因となることがあります。 本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。 付属の電源プラグアダプター(二芯変換アダプター)を使用する場合 電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。感電またはけがの原因となります。 • 電源コードのアース端子を必ずアースに接続してください。 アース端子を接続しないと感電の原因となります。 • アース端子の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース端子をはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。   
	雷が鳴り出したら、電源プラグや電源コードには触れないでください。 感電の原因となります。
	ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。 ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

⚠ 警告

	電源および電源プラグの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因となります。 - 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。 - 電源プラグを抜くときはプラグ部分を持ってください。コードを引っ張るとコードが傷ついて火災や感電の原因となります。 - 電源プラグはほこりなどが付着しないように定期的に清掃してください。 - 電源プラグの周囲に物を置かないでください。 - タコ足配線をしないでください。 - コンセント付き延長コードを使う場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。
	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐに本製品の電源を切り、AC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。 本製品は精密機器です。そのまま使用を続けるとショートして、火災や感電の原因となります。販売店にご相談ください。
	お手入れの際は、電源を切り、AC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因となることがあります。
	本製品の移動や取り付け・取りはずし、周辺機器との接続の際は、本製品に接続している機器および本製品の電源を切り、AC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災や感電、故障の原因となります。
	万一、異常現象(煙、異音、においなど)が発生した場合は、すぐに電源を切り、AC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。販売店へご相談ください。
	いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。 万一、本製品に異常が起きたとき、すぐに電源プラグが抜けないと、火災や感電の原因となることがあります。
	通気孔をふさがないでください。 通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。 風通しをよくするために次の項目をお守りください。 - 密閉された狭い場所に押し込めないでください。 - 布などで包まないでください。 - あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。
	設置および取り扱い上のご注意 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグにほこりがたまり、火災の原因となることがあります。
	画面が破損して漏れた液晶(液体)には、触れないでください。 誤って液晶パネルを破損し、中の液晶(液体)が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水ですすいでください。また、皮膚や衣服についた場合は、すぐにアルコールなどでふき取り石鹸で洗い流してください。付着したまま放置すると、皮膚や衣服を傷めることがあります。
	梱包用の袋は子供の手の届かない場所に保管してください。 梱包用の袋をかぶったりすると、窒息の原因となります。

⚠ 注意	
	本製品の上に物を置いたり、上に乗ったりしないでください。 倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
	不安定な場所に設置しないでください。 ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を十分にお確かめください。
	転倒・落下防止の対策をしてください。 地震の場合などに倒れる恐れがあります。安全のため、スタンドを固定するなど、必ず転倒・落下防止処置をしてください(📖 15)。転倒・落下防止対策は、けがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
	本機を設置するときは、指定手順に従って行ってください(📖 13)。 設置が正しく行われないと、本機が傾いたり落下したりすることにより、けがの原因となることがあります。
	一年に一度程度、取り付け状態を点検してください。 取り付け状態に不備があると、落下してけがの原因になります。
	ヘッドホン使用時には音量を上げすぎないでください。 ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

取り扱い上のご注意

画面について

- 画面を強い光に向けたままにすると、画面を傷めてしまいます。窓際や室外などで使用するときにはご注意ください。
- 画面を強く押したり、引っかいたり、画面上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因となります。
- 使用中に画面やキャビネットが温かくなることがありますが、故障ではありません。

バックライトについて

バックライトには寿命があり、経年劣化により輝度の低下や色の変化などが起こる恐れがあります。

焼き付きについて

同じ画像を長時間表示していると、画像が変わったときに前の画像が残像として見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありません。なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。

輝点・減点について

液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。また、これは、液晶パネルの特性上、長期間の使用により増加する場合があります。これらの現象は、故障ではありません。

結露について

本機を冷えた状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、室温を急に上げたりすると、製品の表面や内部に露が発生することがあります(結露)。そのままの状態で使用すると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。結露した場合は、水滴が消えるまで製品の電源を入れずに放置してください。

お手入れについて

- お手入れをする前に、必ずAC電源またはDC電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 画面には特殊な表面処理をしていますので、直接手で触れないようにしてください。また、シールなどの粘着物は絶対に貼らないでください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入り洗剤、化学ぞうきんなどは、画面を傷めますので絶対に使用しないでください。
- 画面の汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの乾いた柔らかい布でそっと拭いてください。強く拭くと、画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。また、クリーニングクロスにゴミなどが付着したまま強く拭くと、画面に傷が付くことがありますのでご注意ください。
- 画面の汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に、水で薄めた中性洗剤を少し含ませて軽く拭いてください。
- 画面の表面からほこりを取り除くときは、ブローアーをご使用ください。
- キャビネットの汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、布に水または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてください。また、アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、キャビネット上の文字などが消えてしまうことがあるので、使用しないでください。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にディスプレイを捨てないでください。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

本機の特長

動画ディスプレイDP-V2410は、キヤノン画作りの技術を踏襲した高画質に加え、撮影用途に適した性能、機能を搭載することで、デジタルシネマと放送双方の映像制作に最適なリファレンスディスプレイです。

撮影用途に最適な画質性能、機能を搭載

- 解像度4096x2160のパネルおよびバックライトシステムを搭載
- 明所での使用を考慮した高輝度を実現
- 2000：1以上の高コントラストを実現
- 温度変化や経年劣化による変動を抑えて高均一性を実現
- DCI-P3の広色域に対応
- 画質性能を向上させる機能を搭載
 - 明所で使用するときには輝度を上げる「ブースト(コントラスト)」に対応
 - ITU-R BT.2020の色域を最適に表示し、また「コンスタントルミナンス」にも対応
- HDR (High Dynamic Range)表示機能を搭載
- ACESproxyに対応
- 波形モニター、ベクトルスコープ、スクリーンキャプチャー、ズーム、フォルスカラーなど、撮影の利便性や映像確認を考慮した機能を搭載
- ITU-R BT.1886で規格化されているCRT同等のガンマに対応
- USB端子にはカラーグレーディング用コントローラー(Tangent Wave社製 Element-Tk)や外付けセンサー、USBメモリーが接続可能
- LAN端子に別売のディスプレイコントローラー CL-01が接続可能
- 3G/HD-SDI端子を搭載し、「Square Division」と「2 Sample Interleave Division」の2つの伝送方式に対応
- マルチ表示機能(4画面または2画面)を搭載
- HDMI入力端子搭載

デジタルシネマカメラ連携(キヤノン製／ARRI社製)

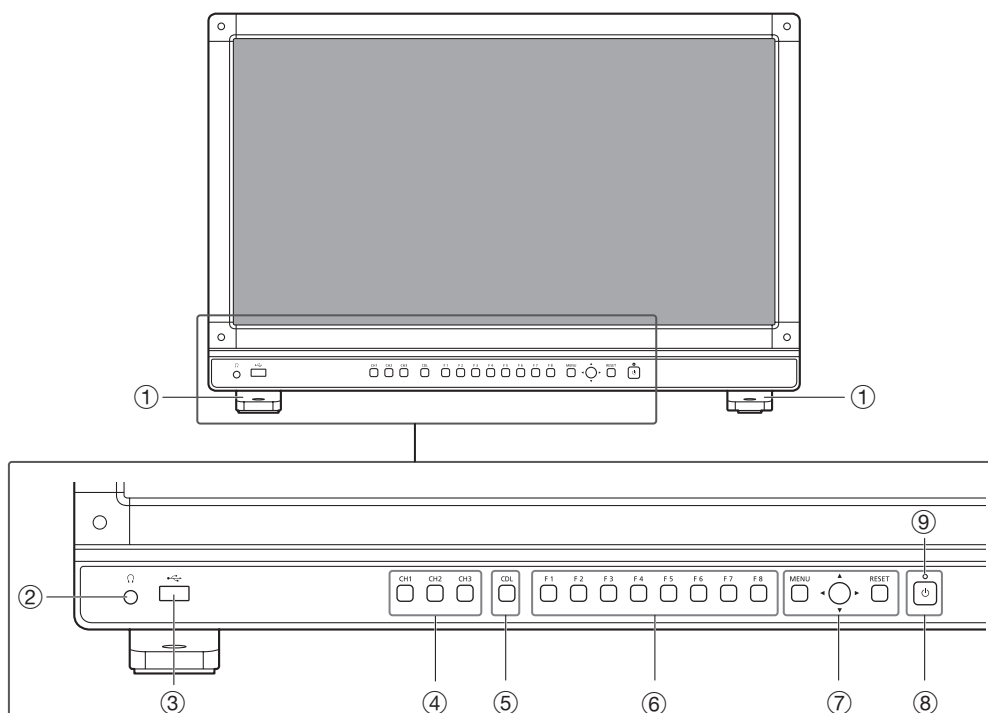
- 4K RAWに対応。ACES2065-1上で4K RAWワークフローを構築
- カメラのメタデータを使用した、カメラの撮影情報表示、画質設定自動切り換え機能、エリアマーカのサイズの自動切り換え機能^{*}を搭載(^{*}ARRI社製シネマカメラのみ)
- カメラのREC信号に連動したファン停止機能を搭載
- CINEMA EOS SYSTEMカメラの「Canon Log」、「Canon Log 2」、「Canon Log 3」に対応
- ARRI社製シネマカメラのルックに対応

機動力

- 24型、質量12 kg以下の小型・軽量ボディ
- 金属外装を採用した高い堅牢性
- 設置、持ち運びに便利なハンドルや、2種類の位置から選択できるスタンドなどを装備し、柔軟な設置性と高い可搬性を実現
- DC電源入力に対応

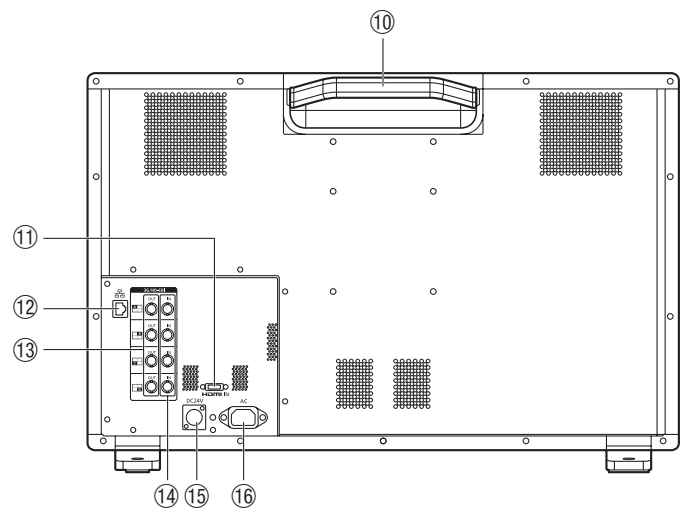
各部名称

■ 本体前面



①	スタンド	設置位置は2種類から選択できます。	14
②	ヘッドホン端子	ヘッドホンを接続します。	55
③	USB端子	キャリブレーション用外付けセンサー(24)、USBメモリー、HUB、カラーグレーディング用コントローラー(Tangent Wave社製 Element-Tk)を接続します。	—
④	CH1-3ボタン	チャンネルをダイレクトに切り換えます。	30
⑤	CDLボタン	通常モードとCDLモードを切り換えます。	—
⑥	F1-F8ボタン	登録した機能を実行します。Fボタンには、通常モードとCDLモードごとに、異なる機能を割り当てることができます。	29
⑦	MENUボタン	OSDメニューを開く／閉じます。メニュー内では1つ上の階層に戻ります。	20
	ジョグダイヤル	OSDメニュー内でのフォーカスの移動や設定内容を変更(上下左右、回転)、決定(押す)します。	20
	RESETボタン	スライドバーで調整する項目と文字入力の設定内容をリセットします。	20
⑧	⏻(電源)ボタン	電源を入／切します。	19
⑨	電源ランプ	本体の状態を表示します。電源ランプの明るさを「オフ」、「1(暗い)～5(最も明るい)」に設定できます(71)。「オフ」でも、ファームウェアアップデート中／異常検出時は点滅します。 消灯：AC電源またはDC電源が接続されていないとき 緑点灯：AC電源またはDC電源が接続されていて、本機の電源が入のとき 緑点滅：キャリブレーション中／ファームウェアアップデート中 橙点灯：スタンバイ(AC電源またはDC電源が接続されていて、本機の電源が切のとき)時 橙点滅：異常検出時	—

■ 本体背面



⑩	キャリングハンドル	設置・接続や持ち運ぶときに使用します。	13
⑪	HDMI入力端子	HDMI信号を入力します。	18
⑫	LAN(10/100 BASE)端子	別売のディスプレイコントローラー CL-01などを接続します。	—
⑬	3G/HD-SDI出力端子	⑭に対応するスルーアウト出力です。	—
⑭	3G/HD-SDI入力端子	SDI信号を入力します。	17
⑮	DC電源入力端子	DC電源を接続します。	19
⑯	AC電源入力端子	付属のAC電源コードを接続します。	19

🔍 ご注意

- USB端子にキャリブレーション用外付けセンサーを接続する場合、3 mを超える長さのケーブルは使わないでください。通信エラーが起き、正しくキャリブレーションできない可能性があります。
- 周辺機器を接続するときは、安全のために、過大電圧を持つ可能性があるコネクタを本機の端子に接続しないでください。
- SD-SDI信号は、正しくスルーアウト出力されません。

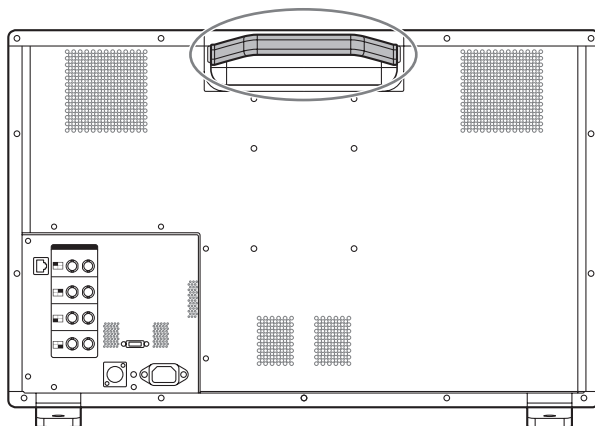
📝 メモ

- USBメモリーは、FAT16または FAT32でフォーマットされたものに対応しています。
- すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
- USBメモリーが認識されるまで、10秒以上かかる場合があります。認識中に、USBメモリーに保存する機能を実行すると、「USBメモリー検出中です。」が表示されます。

設置／接続のしかた

本機の持ち運びかた

本機を持つときは、必ず背面のキャリングハンドルを持ってください。



ⓘ ご注意

- 本機を持ち運ぶときには、画面に触れたり傷つけないようにご注意ください。

保護板の取り付けかた

運搬や屋外の使用時に画面を保護する保護板を取り付けることができます。

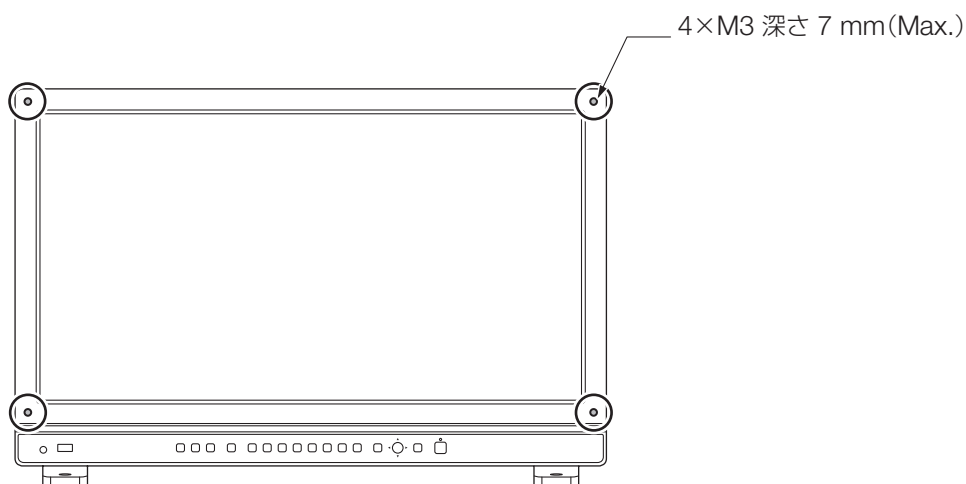
1. 前面4つのネジをはずす

1.5 mmの六角レンチをご使用ください。

はずしたネジは紛失しないように保管してください。このネジは他の用途に使用しないでください。

2. 4つのネジ穴に保護板を取り付ける

保護板が割れないように注意して、取り付けてください。



ⓘ ご注意

- 作業中に画面に触れたり傷つけないようご注意ください。

スタンドの取りはずしかた、取り付けかた

スタンドは2種類の位置から選択できます。スタンドの位置を変えたり、ラックや壁に取り付けたりするときの、スタンドの取りはずしかたと取り付けかたを説明します。

ⓘ ご注意

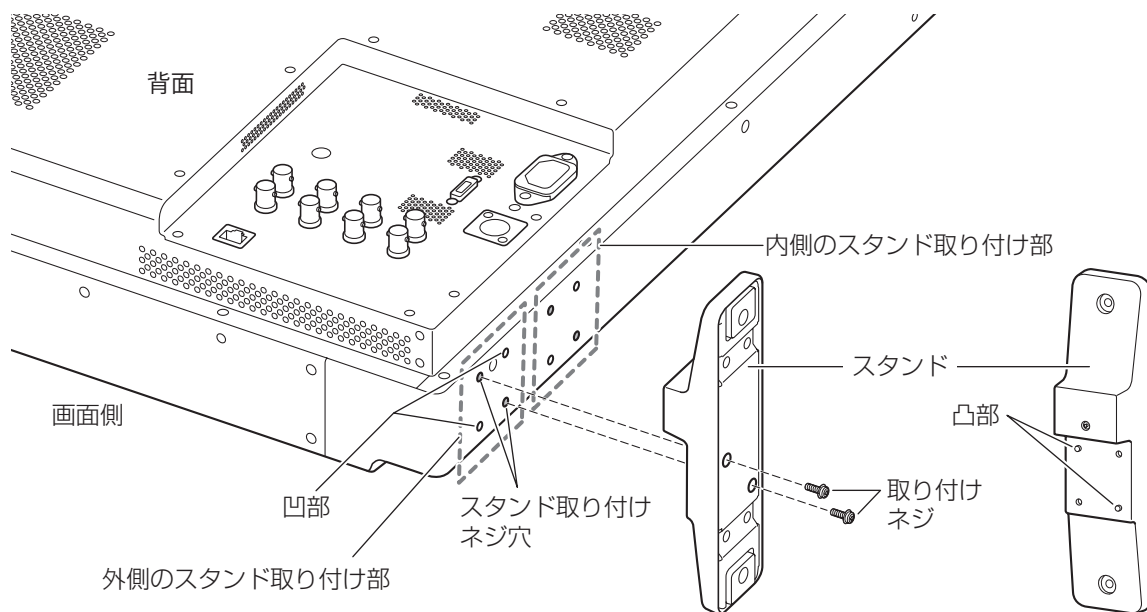
- 取りはずし、取り付けの作業は、机の端などを利用し、スタンドが机の上に乗らないように置いて作業してください。また、突起物のない、平らな机をご使用ください。
- スタンドをはずした状態で机や台に置くとときには、転倒しないような処置をしてください。
- 作業中に画面に触れたり傷つけないようご注意ください。

■取りはずしかた

1. ディスプレイの外形より一回り大きい柔らかい布やクッション材の上に、画面を下にしてディスプレイを置く
2. 4つの取り付けネジをはずす
はずしたネジは紛失しないように保管してください。このネジは他の用途に使用しないでください。

■取り付けかた

1. ディスプレイの外形より一回り大きい柔らかい布やクッション材の上に、画面を下にしてディスプレイを置く
2. スタンドと本機のネジ穴の位置を合わせる
スタンドの凸部と本機の凹部を合わせます。
3. 左右のスタンドを、それぞれ2つの取り付けネジで固定する



📌 メモ

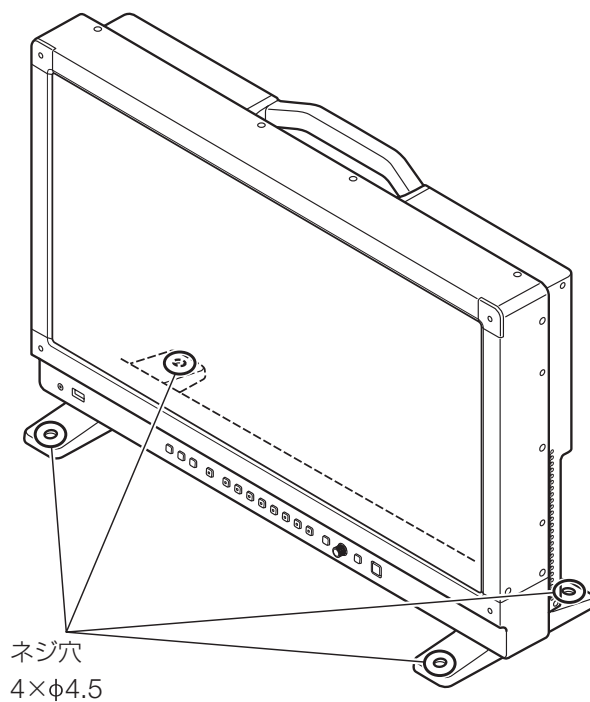
- スタンドの取り付け位置は、外側どうし、内側どうしの組み合わせをお勧めします。

転倒・落下防止の処置をする

本機のスタンドにあるネジ穴を利用して固定すると、本体の転倒・落下を減少できます。

1. ネジ穴のサイズに合うネジを使用し固定する

ネジ穴のサイズは次のとおりです。



ご注意

- 台に固定する場合には、本機の重量に耐える堅牢な物をご使用ください。
- 作業中に、本機が落下、転倒などしないように必ず2人以上で作業してください。
- 作業中に画面に触れたり傷つけたりしないようご注意ください。

本機をスタンドや壁に取り付ける

市販のスタンドや壁掛け金具などに、本機を取り付けることができます。事前にスタンドを取りはずしてください(14)。

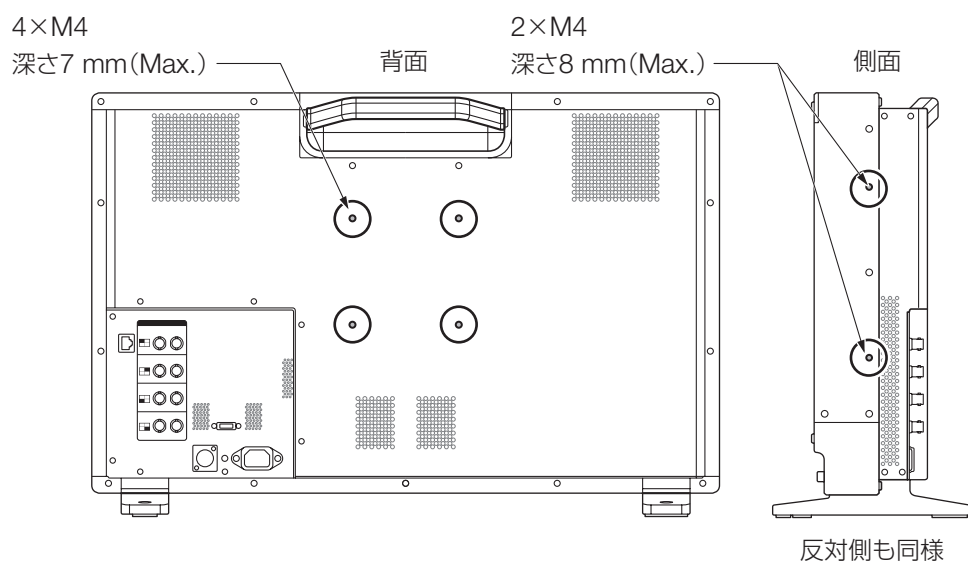
本機対応のネジタイプは、M4×7 mm(VESA規格準拠 100 × 100 mm)です。

⚠ ご注意

- 安全のため、必ず2人以上で作業してください。
- 本機を壁に取り付けるときは、壁の強度を確認のうえ、適切な補強を行ってください。また、スタンドや壁掛け金具の耐荷重もご確認ください。
- 本機をラックやディスプレイ棚に収納した場合、上下および周辺の機器によりディスプレイ周辺の通気が妨げられると、動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。本機の動作条件温度0℃から40℃を保つように、上下に1 U(4.4 cm)以上の隙間、また、背面から4 cm以上の隙間をあげ、周辺機器との隙間を十分にとり、通気孔の確保や通気ファンの設置などの配慮をしてください。
- 壁に取り付ける場合には、ケーブル類が折れないように、壁との間に十分なスペースを取ってください。
- 市販のスタンドや壁掛け金具を取り付ける場合には、キャリングハンドルと接触しないようご注意ください。
- 作業中に画面に触れたり傷つけたりしないようご注意ください。
- 取り付け、取りはずしの際は、落下にご注意ください。

1. 本体背面や側面の4つのネジ穴に、市販のスタンドや壁掛け金具を取り付ける(79)

ネジ穴のサイズは次のとおりです。



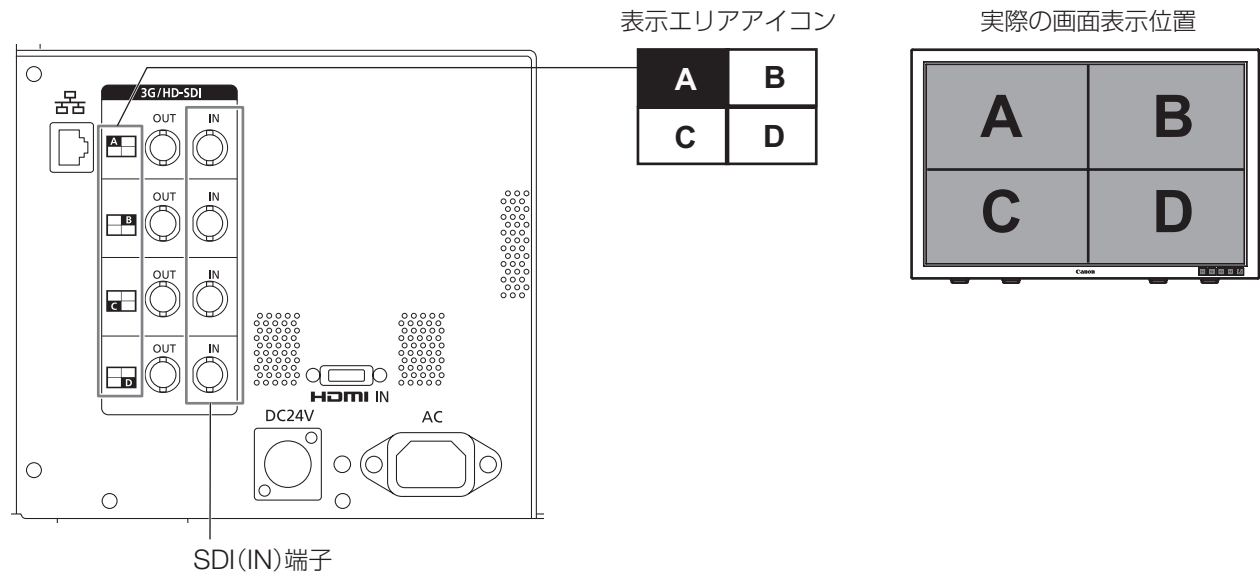
本機と入力機器を接続する

本機には3G/HD-SDIとHDMIの入力端子があり、これらの端子に入力機器を接続します。

- 🔍 ご注意
- 接続する前に、本機と入力機器の電源が入っていないことをご確認ください。

■SDI入力信号

3G/HD-SDI入力端子部にある表示エリアアイコンを参考に、正しく接続してください。



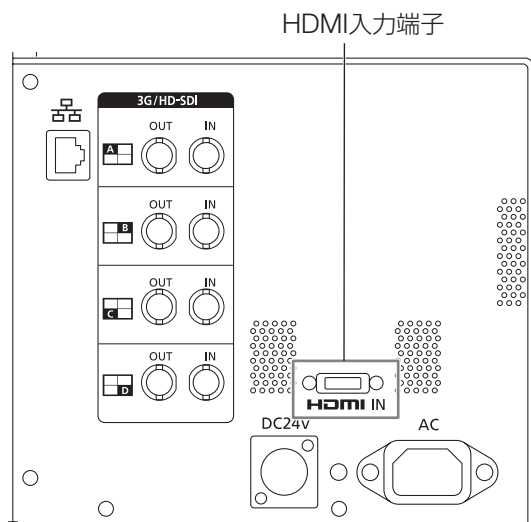
	入力信号		入力端子	
Quad Link (Square Division)	3G/HD-SDI	左上 マッピング信号	Input A	1系統
		右上 マッピング信号	Input B	
		左下 マッピング信号	Input C	
		右下 マッピング信号	Input D	
Quad Link [※] (2 Sample Interleave)	3G-SDI	Link 1	Input A	1系統
		Link 2	Input B	
		Link 3	Input C	
		Link 4	Input D	
Dual Link [※]	3G-SDI	Link 1	Input A	2系統
		Link 2	Input B	
		Link 1	Input C	
		Link 2	Input D	
Single Link	3G/HD/SD-SDI	—	Input A/Input B/ Input C/Input D	4系統

※ 「Image Division」が「オート」のときは自動で切り換わります。

参考

- カナレ電気株式会社製 BNCケーブル(マルチ) 4VS03A-5Cで動作確認しています。
- 3G-SDI RAWは、30.00Pを超える周波数の場合、Dual接続になります。
- スルーアウト出力は、各入力端子に対応しています。Input Aから入力しているときは、Input AのSDI(OUT)端子にケーブルを接続します。

■ HDMI入力信号



ご注意

- HDMIケーブルは、High Speedロゴが明記されたHDMI規格に適合するケーブルをご使用ください。HDMI規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。

電源の入れかた

本機の電源の入れかたを説明します。

本機の電源を入れる

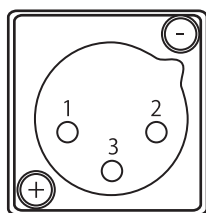
1. 背面のAC電源入力端子に付属のAC電源コード HT-20を差し込む

スタンバイ状態になり、電源ランプが橙色に点灯します。

■ DC電源を使用するとき

DC電源入力端子の仕様は次のとおりです。正常に接続されると、スタンバイ状態になり、電源ランプが橙色に点灯します。

※ DC電源入力端子の仕様をご確認のうえ、本機に適合するものをご使用ください。特に電圧と極性が適合しないものを使用すると、火災や感電の原因となります。



ピン番号	信号
1	– (GND)
2	+(24V - 28V、許容電流 10 A以上)
3	N.C.

2. 前面の電源ボタン を押す

電源ランプが緑色に点灯します。

ご注意

- 付属の電源プラグアダプター PU-01を使用する場合は、必ずアース端子をアースに接続してください。
- DCコードは、許容電流10 A以上、長さ2 m以下のものを使用してください。2 mを超えるDCコードを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- DC電源入力端子には、音声機器や音声用ケーブルを接続しないでください。故障の原因となります。

メモ

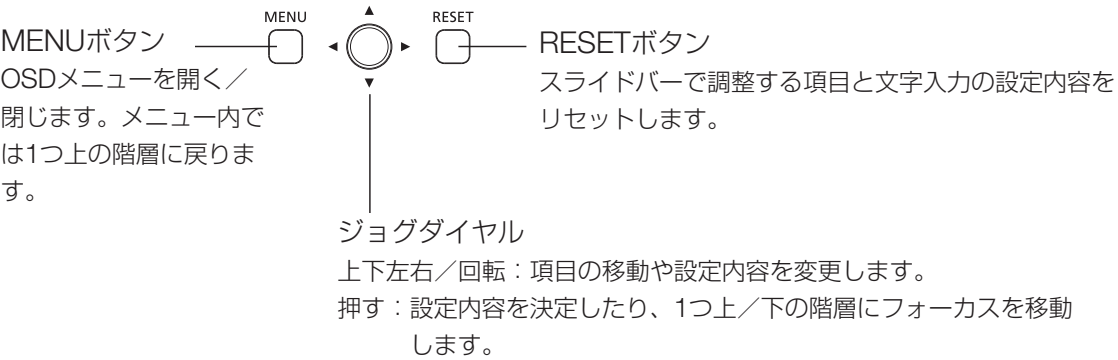
- 本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて10分以上経ってからご使用ください。
- DC電源を使用中にAC電源を接続すると、優先的にAC電源に切り替わります。その場合、一度電源が切になり、再起動します。
- 動作確認済みDC電源の詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

操作のしかた

本機のボタンやジョグダイヤルで、画質調整や入力信号の設定を行います。また、CHボタンやFボタンによく使う設定や機能を登録することができます。

ジョグダイヤルの操作のしかた

ジョグダイヤルの操作のしかたは次のとおりです。



OSDメニューの基本操作

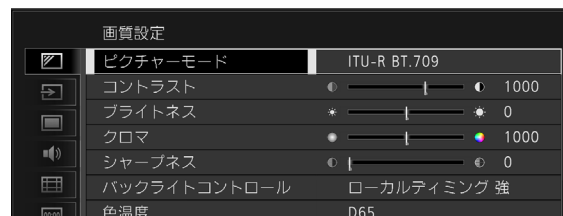
OSDメニューの基本操作を説明します。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く



2. ジョグダイヤルで項目を選択し、押して決定する

フォーカスがサブメニューに移動します。



3. ジョグダイヤルで項目を選択し、押して決定する

フォーカスが設定内容に移動します。

4. ジョグダイヤルで設定内容を選択する

ジョグダイヤルの動作に応じて、設定内容が変化します。

5. ジョグダイヤルを押して決定する

フォーカスがサブメニューに戻ります。

6. メニューを終了する

MENUボタンを押すと、フォーカスが1つ上の階層に移動します。メニューを終了させるときは、トップ画面のメインメニューまでフォーカスを移動させてMENUボタンを押します。

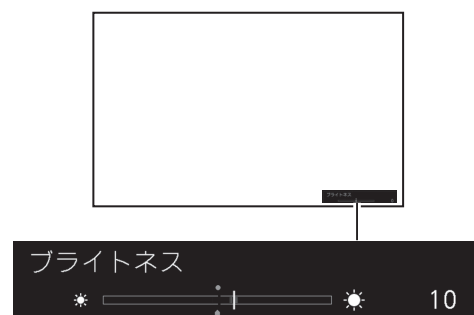
メモ

- 「コントラスト」、「ブライトネス」、「クロマ」、「シャープネス」、「Power」、「Saturation」、「Offset」、「Slope」調整中に工場出荷時の設定内容に戻すときは、RESETボタンを押します。なお、キャリブレーションを実行している「User 1-7」モードは、工場出荷時ではなくキャリブレーション後の設定内容に戻ります。
- 画質を調整するときには、本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて、10分以上経ってから実施してください。
- OSDメニューとスライドバーは約1分間、Fボタンは約10秒間何も操作をしないと自動的に消えます。
- 設定できない項目は、グレー表示になります。

映像全体を見ながら画質を調整する

OSDメニューを表示しているときに、画面下部にスライダーだけを表示させ、映像全体を見ながら画質を調整できます。

1. 設定内容にフォーカスがあるときに、ジョグダイヤルを押す
スライダーが画面の下部に表示されます。
2. スライダーを目安にジョグダイヤルで調整する
3. 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。



■「色温度」の「ゲインR/G/B、バイアスR/G/B」の操作

「ゲインR/G/B」と「バイアスR/G/B」の調整用スライダーが表示されているとき、RGBをまとめて、またはそれぞれ個別に調整できます。

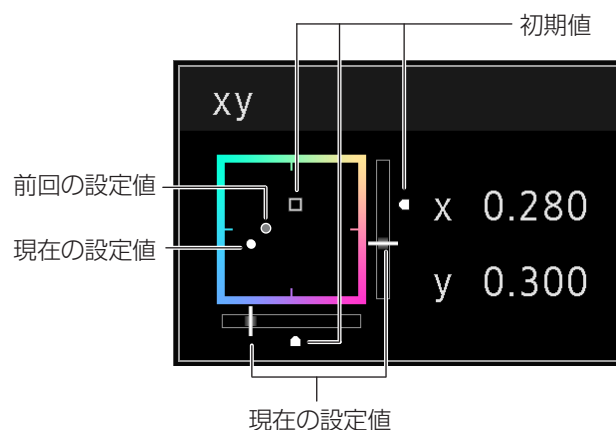
1. スライダー画面右上のガイドをジョグダイヤル(▲▼)で切り換える
「RGB」、「R」、「G」、「B」と表示が切り換わります。
2. 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。



■「色温度」の「x, y」の操作

カラーマップ上で、「x, y」を調整できます。

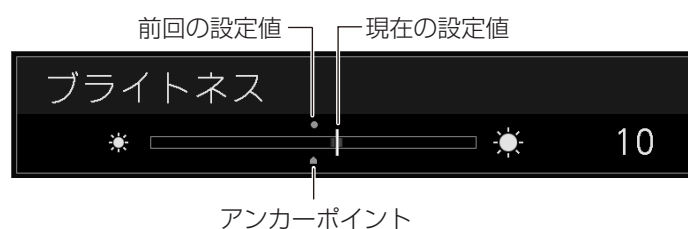
1. Xはジョグダイヤル(◀▶)、Yはジョグダイヤル(▲▼)で調整する
設定した値がカラーマップ上に(○)で表示されます。
2. 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。



調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定)

「コントラスト」、「ブライトネス」、「クロマ」、「シャープネス」、「HDRレンジ」の調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます。CDL調整時のアンカーポイントの設定は 43 をご覧ください。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「画質設定」を選択し、押して決定する
フォーカスがサブメニューに移動します。
3. ジョグダイヤルで「画質設定アンカー」を選択し、押して決定する
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。調整値が保存され、アンカーポイントが設定されます。
4. 再度画質を調整後、本機のRESETボタンを押す
RESETボタンを押すと、それぞれのアンカーポイントに戻ります。



メモ

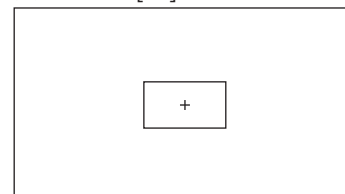
- 「画質設定」の「画質設定リセット」または「システム設定」の「全設定リセット」を実行すると、アンカーポイントはリセットされ、工場出荷時の値に戻ります。
- 「ピクチャーモード」の「User 1-7」でキャリブレーションをした場合、その値がアンカーポイントとして上書きされます。

ズーム表示を調整する(53)

ズームの表示位置を変更したり、ズーム倍率(2倍、4倍、8倍)を選択できます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「ディスプレイ設定」→「ズーム」を選択する
3. ジョグダイヤルで「ズームプリセット」を選択する
ズーム表示のプリセットを選択します。
4. ジョグダイヤルで「ポジション」を選択する
ズーム調整画面が表示されます。
 - 表示位置を移動する：ジョグダイヤル(▲▼◀▶ または回転)を動かす
 - 中央に戻す：RESETボタンを押す
5. 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。

ズーム 2 [x4]



メモ

- 画像がズーム表示中、OSDメニューを閉じているときは、ジョグダイヤルを押すことで倍率を設定できます。

画面の右側／左側の画質を調整する(画質比較モード)

本機では、画面を左右に2分割して、画面ごとに画質を調整できます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く

2. ジョグダイヤルで「チャンネル設定」→「ピクチャーモード R」を選択する

右画面の「ピクチャーモード」を選択したら、ジョグダイヤルを押して決定します。

3. 画質を調整する画面を選ぶ

- OSDメニューを開いているとき：
 - 「画質設定」のメインメニューを選択時に、ジョグダイヤルの ◀ を押します。
 - 「画質設定」のメインメニューまたはサブメニューを選択時に、CH1ボタンを押します。
- OSDメニューを閉じているとき：ジョグダイヤル(◀▶)で切り換えます。
- 対象画面を切り換えると、画面上部に、設定されている「ピクチャーモード」が表示されます。

4. 選んだ画面の画質を調整する

メモ

- 画質比較モード時に、「画質設定」メニュー画面の右上に、画質調整の対象画面として選択されている画面を示すアイコン(L/R)が表示されます。
- 右画面が選択されているとき、使用できない機能は次のとおりです。
 - 「ピクチャーモード」の「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」
 - 「画質設定」のサブメニュー項目：「コントラスト」、「バックライトコントロール」、「HDR/SDR比較表示」、「キャリブレーション」
- 2画面表示時にも、画面ごとに画質を調整して比較表示ができます。
 - 同一映像を2画面表示したとき(「1入力 Dual View」 50)
 - 異なる映像を2画面表示したとき(「Multi View (Dual)」 48)
 - HDR(High Dynamic Range)表示とSDR(Standard Dynamic Range)表示を左右に並べて確認できます。(「HDR/SDR比較表示」 45)
- 左右画面の「ピクチャーモード」が同じ場合、いずれかの画面の画質を調整しても画面全体が調整されます。左右画面を同じ画質にしたい場合は、「ピクチャーモード R」を一度「－(未設定)」に設定してから「ピクチャーモード」を選択し直してください。

Target 

PCレスでキャリブレーションする(45)

「ピクチャーモード」の「User 1-7」選択時に、外付けセンサーを使用して、コンピューターを使用せずにキャリブレーションできます。

対応の外付けセンサーは、コニカミノルタ株式会社製ディスプレイカラーアナライザ CA-310、CA-210です。CA-310、CA-210の説明書も合わせてご覧ください。

1. ディスプレイカラーアナライザを本機のUSB端子に接続する

2. OSDメニューを開いて、「画質設定」→「詳細設定」→「キャリブレーション」を選択する

各目標値を設定します。

3. ジョグダイヤルを押して「スタート」を選択する

画面に表示される案内に従い、操作してください。

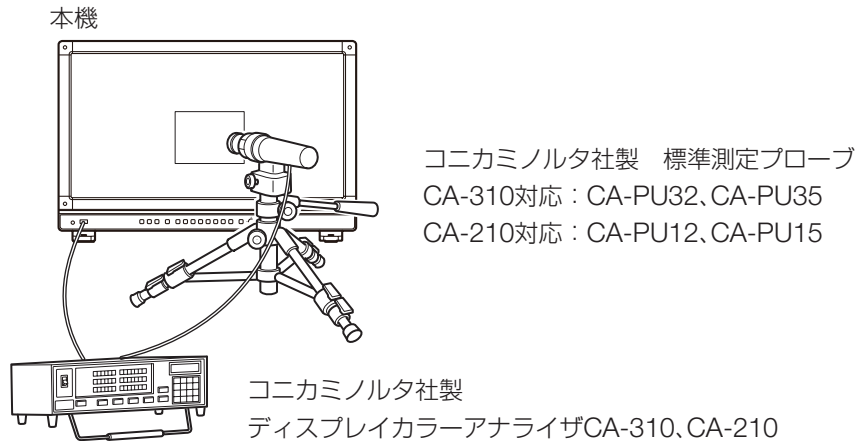
4. センサーを初期化する

標準測定プローブのモードダイヤルを「0-CAL」にセットします。

本機のジョグダイヤルを押し「OK」を選択して、初期化を実行します。

5. 標準測定プローブを本機の中央に向けて設置する

標準測定プローブのモードダイヤルを「MEAS」にセットし、表示にしたがって図のとおり標準測定プローブを設置してください。本機のジョグダイヤルを押し「OK」を選択してキャリブレーションを実行します。



6. キャリブレーションを終了する

「キャリブレーションを終了しました。」が表示されたら、ジョグダイヤルを押し「OK」を選択します。

- 「エラーが発生したため、キャリブレーションを終了しました。」が表示されたとき
エラーによりキャリブレーションが強制的に終了しました。本機はキャリブレーション実行前の状態に戻ります(97)。
- キャリブレーションを中止したいとき
キャリブレーション実行中にジョグダイヤルを押し「中止」を選択します。本機はキャリブレーション実行前の状態に戻ります。

メモ

- 液晶パネルの特性およびCA-310、CA-210の個体差により、キャリブレーションの結果が異なる場合があります。
- キャリブレーション前にディスプレイカラーアナライザのマトリクス校正を行ってください。マトリクス校正を行わずにキャリブレーションを実行すると、エラーになる場合があります。操作方法は、CA-310、CA-210の説明書をご覧ください。
- 本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて10分以上経ってからキャリブレーションを実施してください。
- センサー部に外光が入らないように、室内を暗くしてキャリブレーションを行ってください。外光が入ると低輝度部の特性が正しく補正されません。

エクスポート／インポートする

LUTやCDLの調整値、各メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートできます。USBメモリーを本機のUSB端子に接続してください。

■ LUTをインポートする(44)

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く

2. ジョグダイヤルで「画質設定」→「詳細設定」→「LUTインポート」を選択する

3. ジョグダイヤルでファイルを選択する

「ファイル名」の箇所に、ルートフォルダー内の拡張子「.clut」を検索して表示します。

4. ジョグダイヤルでLUTのタイプを選択する

- 「User LUT」、「Gamma LUT」または「Gamut LUT」から、LUTの種類を選択します。
- 「ディスプレイの画像処理とユーザー LUTの概念図」をご参照ください。また、キヤノンのホームページにある「ユーザー LUT作成ガイド」を合わせてご覧ください。

5. ジョグダイヤルで「LUT選択」を選択する

User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1-8を選択します。

6. ジョグダイヤルで基準となる色域を選択する

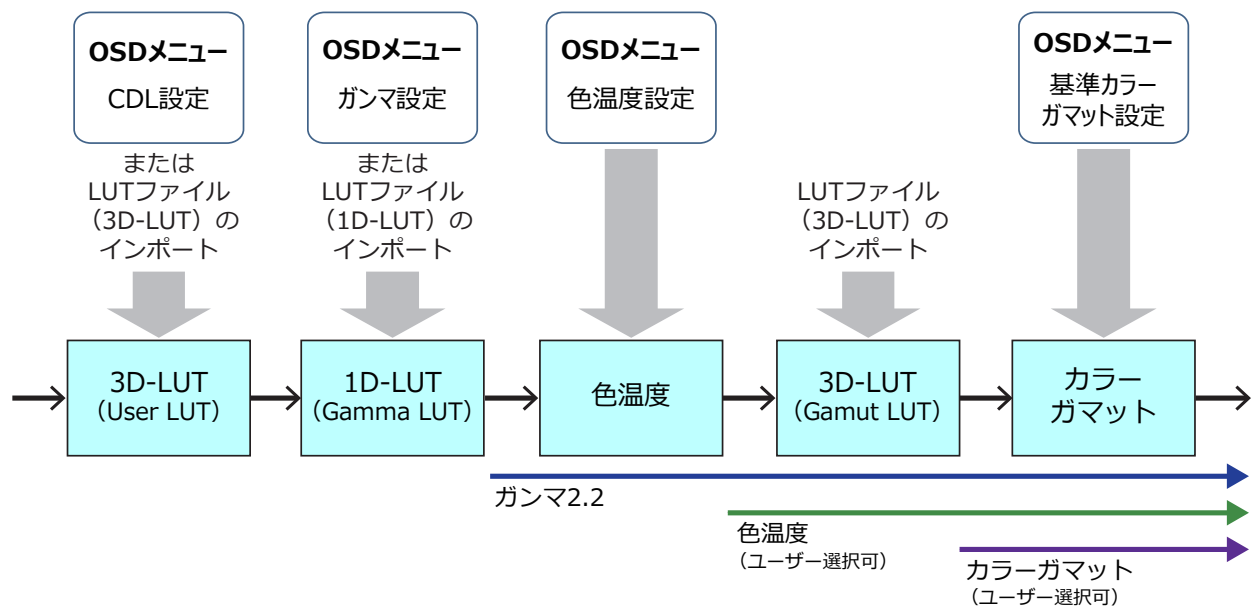
「LUTタイプ」で「Gamut LUT」を選択した場合に、LUT作成時に使用した色域を選択します。

7. ジョグダイヤルで「実行」を選択する

確認画面が表示されたら「OK」を選択します。インポートを開始します。

☑ メモ

- LUTのファイルは、キヤノンディスプレイ独自のものです。ファイルフォーマットや作成のしかたなどについては、キヤノンのホームページでご確認ください。
- LUTのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。
- インポートしたLUTは消去できます。LUT名を変えることもできます(44)。



ディスプレイの画像処理とユーザー LUTの概念図

■ メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートする(📖73)

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「システム設定」→「エクスポート／インポート」を選択する
3. ジョグダイヤルで「エクスポート」または「インポート」を選択する

エクスポートの場合

- 「ターゲット」を「USB」または「User 1-3」から選択します。
「USB」はUSBメモリーに、「User 1-3」は本体内のメモリーに、エクスポートします。
- 「ファイル名」を選択します。
工場出荷時の初期値は「dinfo_dpv2410.dat」です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。
- 「実行」を選択します。
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。エクスポートを開始します。

インポートの場合

- 「ターゲット」を「USB」または「User 1-3」から選択します。
インポートするファイルの保存先を指定します。
- 「ファイル名」を選択します。
- 「設定種別」から「すべて」またはメインメニュー名を選択します。
- 「実行」を選択します。
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。インポートを開始します。

メモ

- 「User 1-3」にエクスポートすると、「システム設定」の「パワーオン設定」で、起動時の設定状態を「User 1-3」から選択できます(📖73)。

■ CDLの調整値をエクスポート／インポートする(📖43)

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ジョグダイヤルで「画質設定」→「CDL/User LUT」→「タイプ」を選択する
「CDL」を選択します。
3. ジョグダイヤルで「詳細設定」→「CDLエクスポート」または「CDLインポート」を選択する

エクスポートの場合

- 「CDLプリセット」を選択します。
 - ファイル形式「.ccc」または「.cdl」を選択します。
 - 「実行」を選択します。
- 確認画面が表示されたら「OK」を選択します。エクスポートを開始します。

インポートの場合

- 「ファイル名」を選択します。
 - 「CDLプリセット」を選択します。
 - 「実行」を選択します。
- 確認画面が表示されたら「OK」を選択します。インポートを開始します。

📝 メモ

- エクスポート時のファイル名は、「YYYYMMDDhhmmss_プリセット名.ccc (cdl)」で自動的に保存されます。
- CDLのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。

日時を設定する(📖70)

日時の設定のしかたを説明します。本機は、約20日間電源コードが接続されないと、日時がリセットされます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 「システム設定」→「日時」を選択する
日時を入力する画面が表示されます。
3. ジョグダイヤルで日時を設定する
ジョグダイヤルでフォーカスを移動させたり、数値を選択します。年／月／日／時／分すべてを入力するまで、繰り返します。
4. すべての入力が終了したら、ジョグダイヤルを押す
フォーカスが「OK」に移動します。
5. 内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す

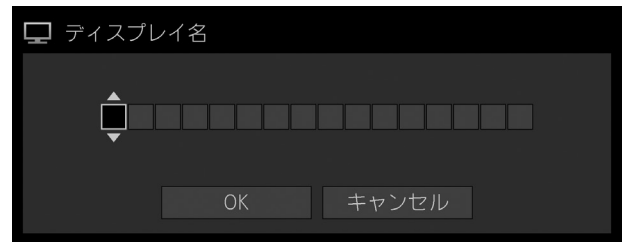
📌 参考

- 「キャンセル」を選択、または「OK」を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。

文字を入力する

文字の入力のしかたを説明します。チャンネル名やディスプレイ名、各種ファイル名の入力に使います。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 文字の入力が必要な場合、文字入力画面が表示される
入力したい場所にジョグダイヤル(◀▶)でフォーカスを移動させます。
3. ジョグダイヤル(▲▼ または回転)で文字を選択する
入力できる文字は次のとおりです。▲▼ を押し続けると順番に表示されます。16文字まで入力できます。
英数(半角): A～Z、a～z、0～9
記号(半角): , . : ; ' ` - + / = % & ! ? # _ | \$ ^ ~ @ { } [] < > () スペース
ファイル名では入力できない文字があります。その場合は自動でスキップします。
4. 入力したい内容が終了するまで、手順2、3を繰り返す
5. すべての入力が終了したら、ジョグダイヤルを押す
フォーカスが「OK」に移動します。
6. 内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す



① 参考

- 「キャンセル」を選択、または「OK」を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。
- 本機のRESETボタンを押すと、フォーカスされている文字を消去できます。

ファンクション(F)ボタンを使う

本機のFボタンに機能を登録し、ワンタッチで実行できます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 「システム設定」→「ファンクション／チャンネルボタン」→「ディスプレイファンクション」または「ディスプレイファンクション(CDL)」を選択し、ジョグダイヤルを押して決定する
別ウィンドウが開き、F1～F8のボタン名が表示されます。
3. ジョグダイヤルでボタン名を選択し、押して決定する
フォーカスが次の階層に移動します。
4. ジョグダイヤルで登録したい機能を選択する
設定できる機能は「ディスプレイファンクション」または「ディスプレイファンクション(CDL)」(70、74)をご覧ください。
5. ジョグダイヤルを押して決定する
設定内容が決定されます。

① 参考

- Fボタンを長押しすると、機能の選択画面が表示され、登録したい機能を設定できます。
- 「ファンクション設定」→「各種ファンクション」→「ファンクションボタンガイド」を「オン」にすると、OSD非表示中にジョグダイヤルを押すことで、本機のFボタンに登録されている機能の一覧を確認できます。

チャンネル(CH)ボタンを使う

本機のCHボタンにチャンネル(入力信号に関する各種設定)を登録し、ワンタッチでチャンネルを切り換えることができます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く

2. 「システム設定」→「ファンクション／チャンネルボタン」→「ディスプレイチャンネル」を選択し、ジョグダイヤルを押して決定する

別ウィンドウが開き、CH1 ～ CH3のボタン名が表示されます。

3. ジョグダイヤルでボタン名を選択し、押して決定する

フォーカスが次の階層に移動します。

4. ジョグダイヤルで登録したいチャンネルを選択する

設定できる内容は「チャンネル設定」(48)をご覧ください。

5. ジョグダイヤルを押して決定する

設定内容が決定されます。

工場出荷時、本機の各CHボタンには、次の内容が登録されています。

CH	CH1	CH2	CH3
入力設定	3G/HD-SDI	HDMI	3G-SDI RAW
入力信号選択	オート	オート	オート
Image Division	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート
音声端子	オート	オート	オート
Marker/TC/WFM/VEC端子	Input A	Input A	Input A
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード	ITU-R BT.709	ITU-R BT.709	CINEMA EOS SYSTEM
ピクチャーモード R	－(未設定)	－(未設定)	－(未設定)
1入力 Dual View	オフ	オフ	オフ
セパレーター	オフ	オフ	オフ

メモ

- CHボタンを長押しすると、チャンネルリストが表示され、チャンネルを選択できます。

信号情報や本機の状態を確認する

本機にはバナーを表示する機能があります。これには、信号情報や本機の状態が表示されます。

1. OSDメニューを閉じているときに、ジョグダイヤルを押す

バナーにチャンネル名や信号情報、本機の状態が表示されます。6秒後に自動的に消えます。

メモ

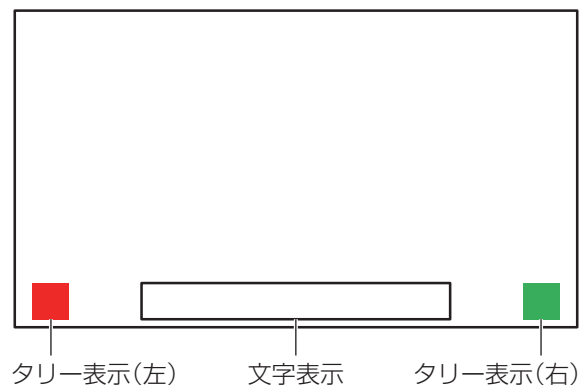
- バナーの表示方法を設定できます。(「バナー表示」 66)
- 詳細な信号情報を確認したい場合には、「シグナルインフォメーション」(76)をご覧ください。
- 入力信号が同期するまでは「同期検出中」というバナーが表示されます。

外部機器を使って本機を操作する LAN端子

本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。タリーは、左右に2カ所あります。文字は、16文字まで入力できます。入力できる文字は、次のとおりです。

英数(半角): A～Z, a～z, 0～9

記号(半角): , . : ; ' ` - + / = % & ! ? # _ | \$ ^ ~ @ { } [] < > () スペース



1. 外部制御機器をLAN端子に接続する
2. TSLプロトコルの設定で、「SCREEN」と「INDEX」を「0x0000」にする
3. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
4. 「システム設定」→「ネットワーク/IMD設定」→「インモニターディスプレイ(IMD)」を選択し、ジョグダイヤルを押して決定する
5. ジョグダイヤルで「コントロール」→「TSL Ver. 5.00」を選択する
 - 外部制御機器からの操作が可能になり、文字とタリーを表示できる状態になります。
6. ジョグダイヤルで「ポジション」→「上」または「下」を選択する
 - 文字とタリーの表示位置を設定します。

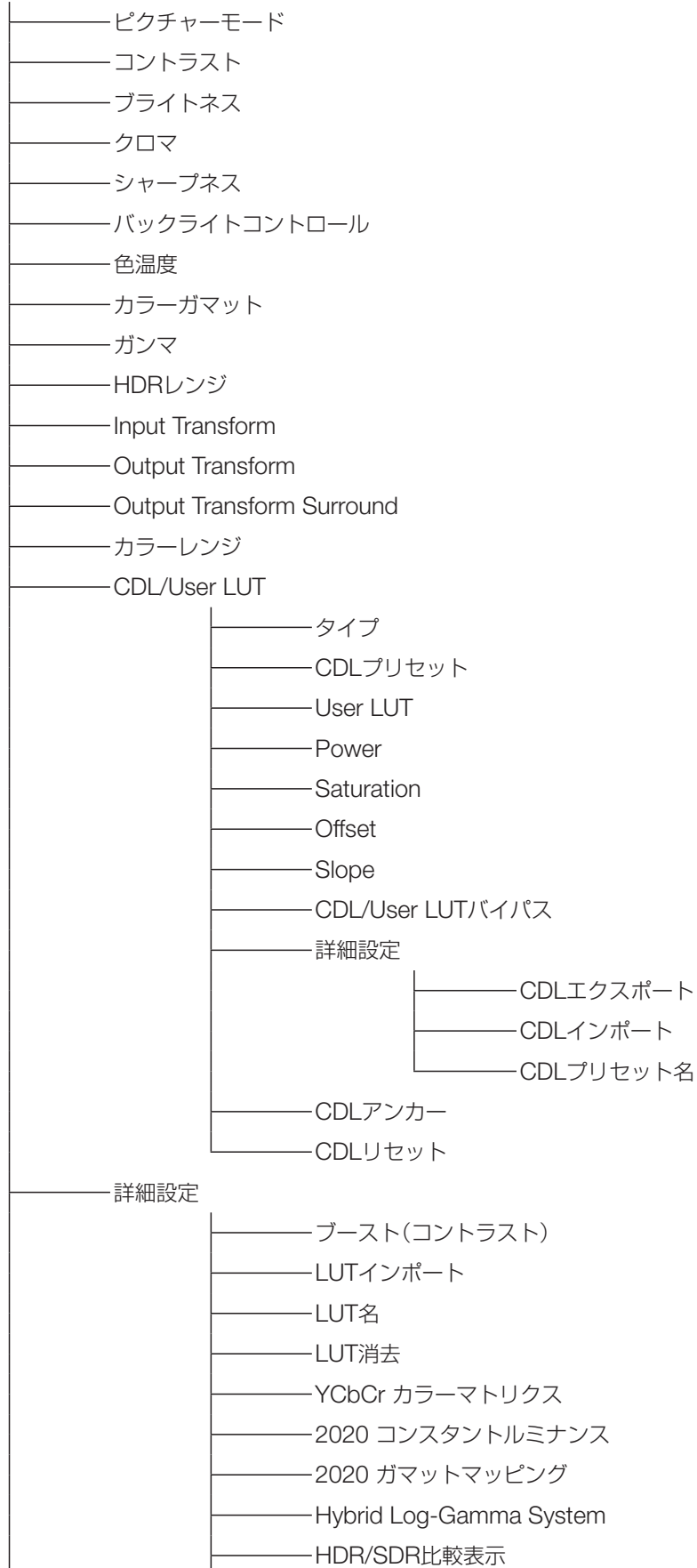
メモ

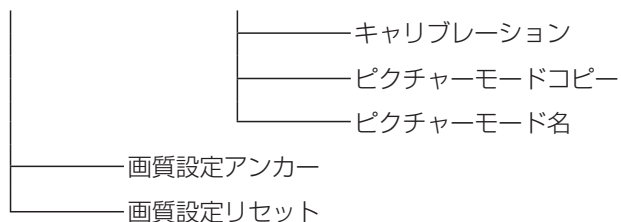
- 「Multi View (Dual)」または「Multi View (Quad)」表示時、「INDEX」の設定を「0x0001」～「0x0004」にしてください。
- 制御するポート番号は、「45000」固定です。
- 「インモニターディスプレイ(IMD)」では、本機でユーザーが指定した文字を画面に表示することもできます。(📖 71)

OSDメニュー

OSDメニューインデックス

画質設定 (0038)

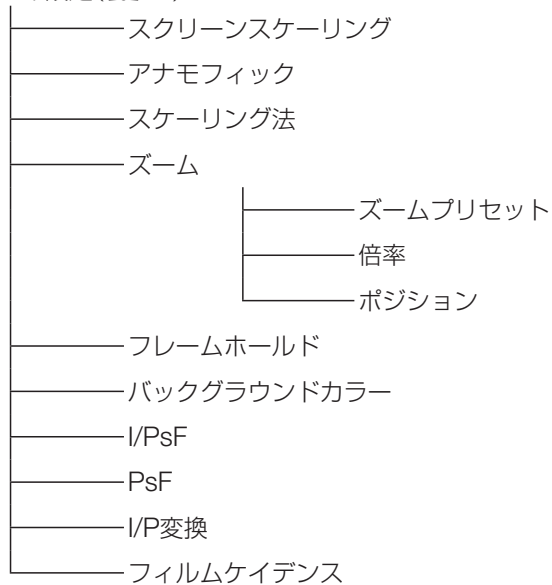




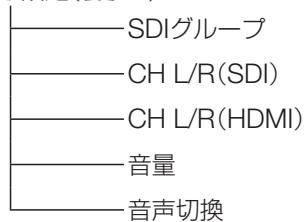
チャンネル設定 (48)



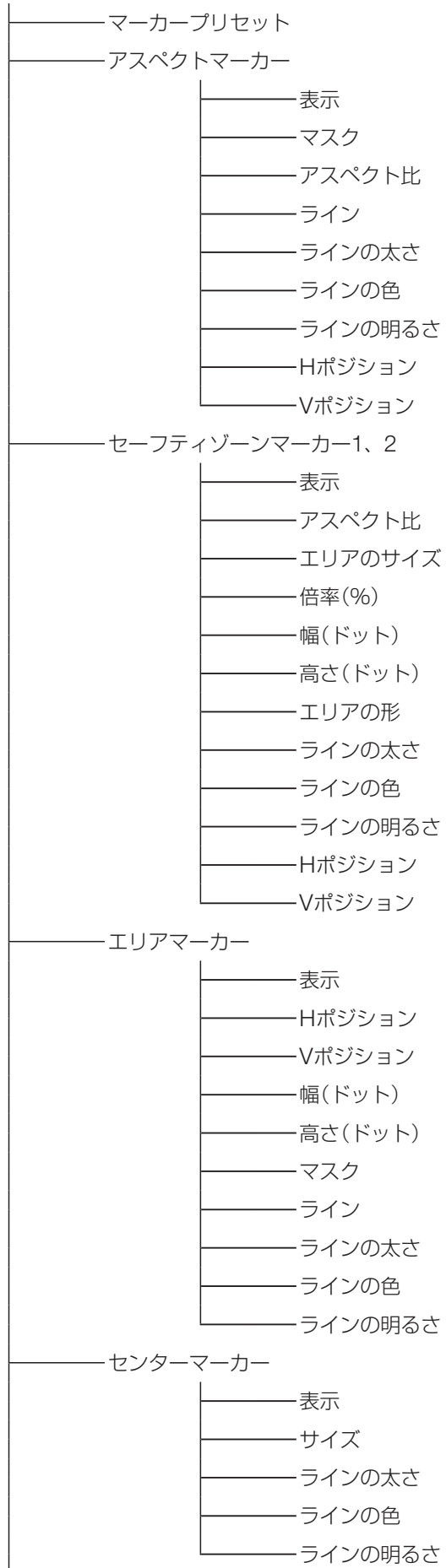
ディスプレイ設定 (52)

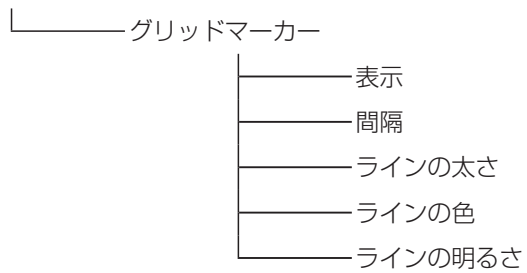


オーディオ設定 (55)

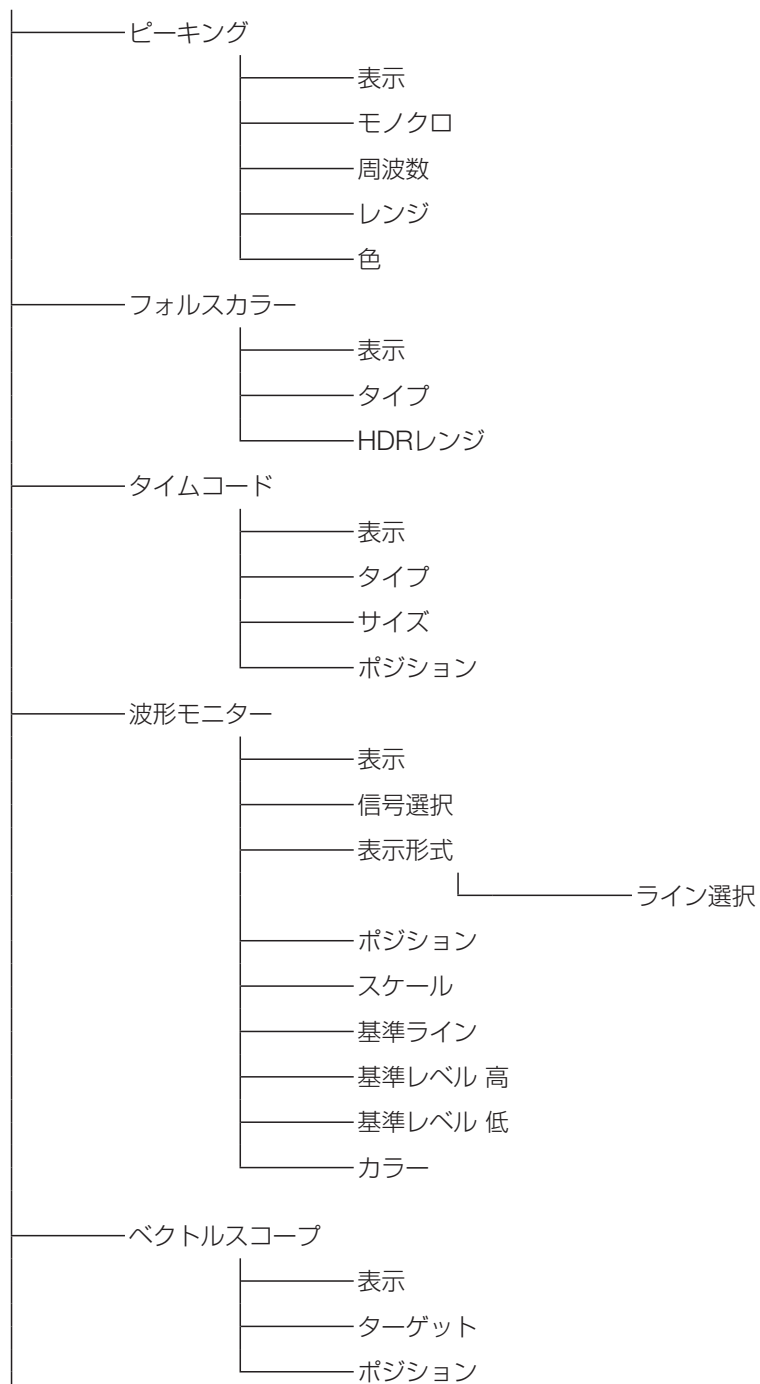


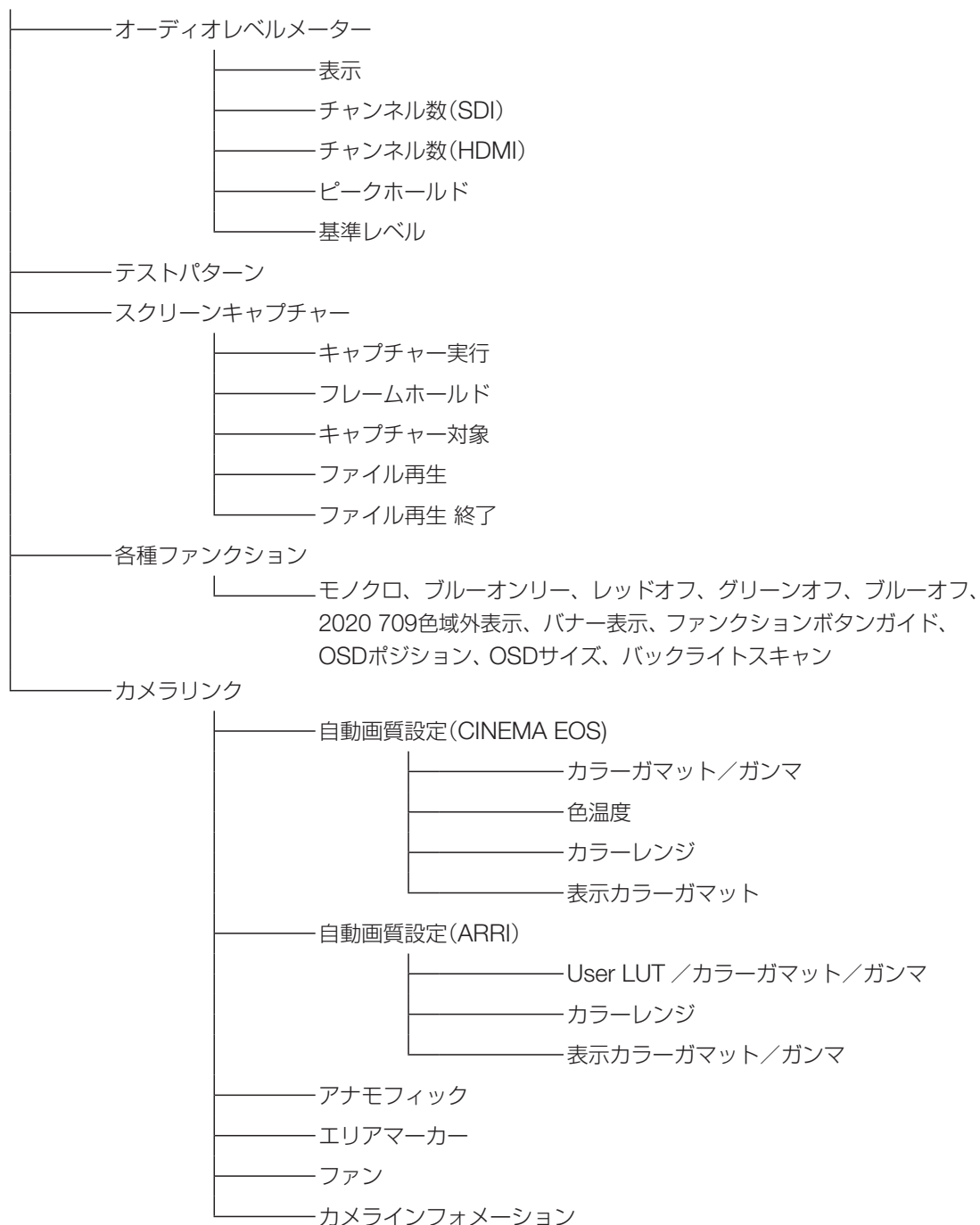
マーカー設定 (56)



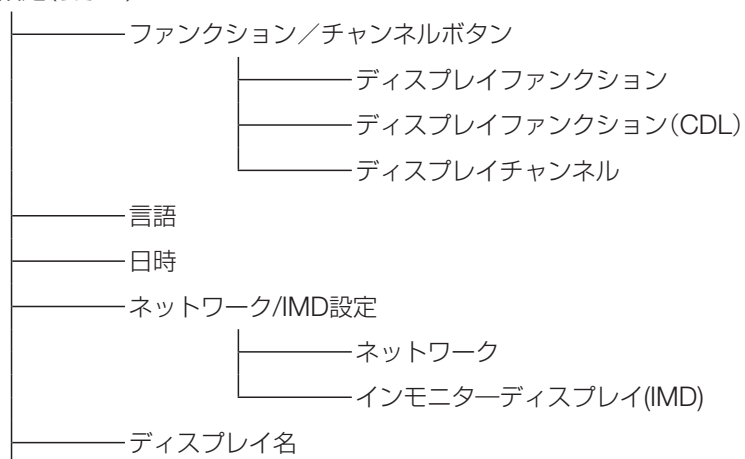


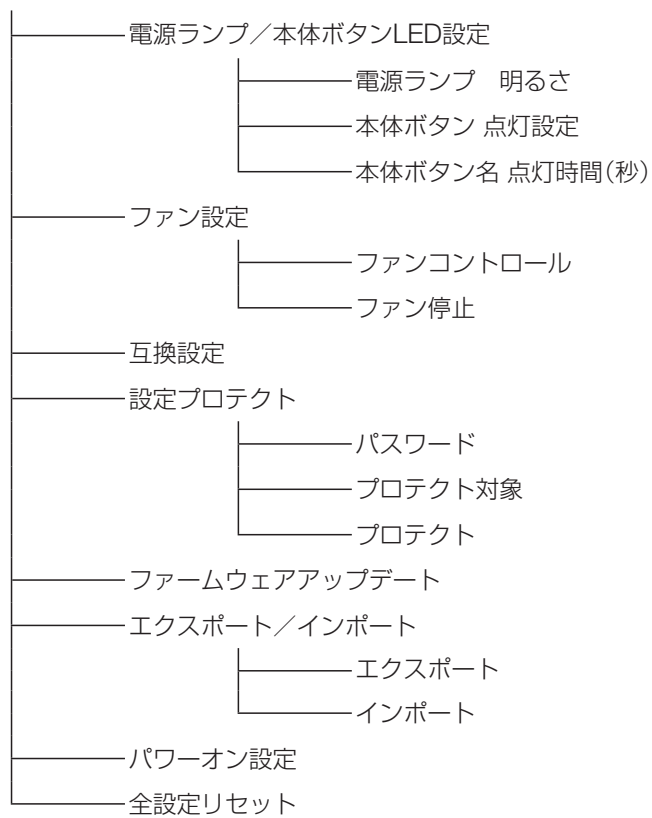
ファンクション設定(61)





システム設定 (70)





シグナルインフォメーション(📖 76)

システムインフォメーション(📖 76)

画質設定

画質を調整したり、PCレスでキャリブレーションをするときに使うメニューです。工場出荷時の設定内容は、「ピクチャーモード」によって異なります(46)。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ピクチャーモード	プリセットモードを選択します。 SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3:各規格の輝度、色温度、ガンマ、3原色色度点の色域に設定されたモードです。 User 1-7(User 1(2020 PQ)、User 2(2020 HLG)、User 3(DCI PQ)、User 4 ~ User 7): 必要に応じてカスタマイズするモードです。「画質設定」にある各項目をそれぞれ設定します。モード名は半角英数記号16文字以内で変更できます。(45) CINEMA EOS SYSTEM: CINEMA EOS SYSTEMのカメラ/ビデオカメラで撮影した映像を表示するときに最適です。カメラリンク機能で、画質設定を自動的に切り換えます(「自動画質設定(CINEMA EOS)」 67)。 ACESproxy (Ver. 1.0.1): ACESproxyの映像を、ガンマ、色域を最適にして表示するモードです。  メモ 「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」は、右画面では設定できません。
コントラスト	画像の白レベルを調整します。(1刻み) 0 ~ 1500 ※「詳細設定」で「ブースト(コントラスト)」を「オン」に設定した場合の、設定範囲は次のとおりです。「ブースト(コントラスト)」が「オン」のときは、「コントラスト [ブースト]」と表示されます。 1500 ~ 4000  メモ 左右画面で異なる「ピクチャーモード」が設定されている場合、右画面の「ピクチャーモード」では設定できません。左画面の設定値に固定されます。
ブライトネス	画像の黒レベルを調整します。(1刻み) -500 ~ 500
クロマ	画像の彩度(色の濃さ)を調整します。(1刻み) 0 ~ 2000  メモ 「CDL/User LUT」の「User LUT」を選択時は、調整できません。
シャープネス	画像の鮮明さを調整します。(1刻み) 0 ~ 100
バックライトコントロール	バックライトの制御方法を切り換えます。 ローカルディミング(オート、強、弱): バックライトの発光量をエリアごとに制御する技術です。表示するコンテンツに合わせて、画像の明るい部分はバックライトを明るくし、暗い部分はバックライトを暗くします。 「オート」の場合、コントラストの値に応じて自動的に発光量を制御します。コントラストの値を高くすると、「強」/「弱」の場合と比べて、画像の暗い部分はバックライトがより暗くなります。 グローバルディミング: 画面全体でバックライトの発光量を制御する技術です。暗い画像であれば、全体を暗くします。 オフ: いずれの処理もしません。  メモ 「グローバルディミング」が設定されているとき、階調性を保持するため画像によっては一時的にコントラストが変わる場合があります。気になる場合には「オフ」にしてご確認ください。 「ブースト(コントラスト)」が「オン」のときは、「バックライトコントロール」は「オフ」になります。 - 左右画面で異なる「ピクチャーモード」が設定されている場合、右画面の「ピクチャーモード」では設定できません。左画面の設定値に固定されます。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
色温度	色温度を設定します。 D93、D65、D61、D60、D56、D50、DCI-P3：プリセットの色温度を選択します。 ゲインR/G/B、バイアスR/G/B：プリセットの色温度を選択したとき、1刻みで調整できます。 ゲインR/G/B：0 ～ 1023 バイアスR/G/B：-500 ～ 500 カスタム(xy)：CIE x, y で0.001刻みの調整ができます。 x：0.260 ～ 0.360 y：0.260 ～ 0.360 オフ：色温度を設定しません。  メモ 「カスタム(xy)」と、「ゲインR/G/B」または「バイアスR/G/B」は同時に選択できません。 「ゲインR/G/B」または「バイアスR/G/B」を調整している場合、プリセットの色温度モードに「*」が表示されます。 - 表示される色度座標(x, y)の値は調整時の目安となるもので、絶対値を保証するものではありません。
カラーガマット	「ピクチャーモード」の「User 1-7」または「CINEMA EOS SYSTEM」選択時に、色域を選択できます。 SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3：各基準に準拠した色域です。 Native：本機で表現可能な色域です。 Cinema Gamut to 709、Cinema Gamut to 2020、Cinema Gamut to DCI、DCI-P3+ to 709、DCI-P3+ to DCI：CINEMA EOS SYSTEMカメラで撮影したCinema Gamut、DCI-P3+の映像をモニタリングするために、色域を変換するモードです。 Preset Gamut 1 to 709、Preset Gamut 1 to 2020、Preset Gamut 1 to DCI、Preset Gamut 2 to 709、Preset Gamut 2 to 2020、Preset Gamut 2 to DCI：色域を変換するプリセットモードです。 Gamut LUT 1 ～ Gamut LUT 8：外部のLUTを選択します。  メモ - CINEMA EOS SYSTEMの映像を確認するときは、「画質設定」の「CINEMA EOS SYSTEMとDP-V2410の設定値対応表(67)」をご参照ください。 「User LUT」の「ARRI LUT 709」を選択時は、設定できません。「ITU-R BT.709」固定です。 「User LUT」の「ARRI LUT 2020」、「ARRI LUT 2020 PQ 1K」または「ARRI LUT 2020 PQ 2K」を選択時は、設定できません。「ITU-R BT.2020」固定です。
ガンマ	ガンマを設定します。 1.0、2.2、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3：プリセットのガンマを選択します。 Canon Log (HDR)、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB：HDR表示用のガンマを選択します。 Preset Log 1、Preset Log 2：プリセットのガンマを選択します。 Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8：外部のLUTを選択します。 オフ：ガンマを設定しません。  メモ - 次の場合、設定できません。 「ピクチャーモード」が「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」を選択時 「User LUT」が「ARRI LUT 709」、「ARRI LUT 2020」、「ARRI LUT 2020 PQ 1K」または「ARRI LUT 2020 PQ 2K」を選択時 - CINEMA EOS SYSTEMカメラとARRI社製シネマカメラの映像を確認するときは、「カメラリンク」→「自動画質設定」をご参照ください(67)。

「カラーガマット」と選択できる「ガンマ」の関係は次のとおりです。カラーガマットを変更した場合、現在設定中のガンマ値が選択できないときは、下線の値(初期値)に変更されます。

ピクチャーモード	カラーガマット	選択できるガンマ
SMPTE-C	選択不可	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、SMPTE ST 2084 (PQ)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
EBU		オフ、1.0、2.2、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、SMPTE ST 2084 (PQ)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020		オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
Adobe RGB		オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
DCI-P3		オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084 (PQ)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
CINEMA EOS SYSTEM、 User 1-7	SMPTE-C	オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、SMPTE ST 2084 (PQ)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	EBU	オフ、1.0、2.2、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、SMPTE ST 2084 (PQ)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Adobe RGB	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	DCI-P3	オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084 (PQ)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Native	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Cinema Gamut to 709、 Cinema Gamut to 2020	2.2、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	Cinema Gamut to DCI	Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	DCI-P3+ to 709、 DCI-P3+ to DCI	Canon Log、 <u>Canon Log (HDR)</u>
	Preset Gamut 1 to 709 Preset Gamut 1 to 2020 Preset Gamut 2 to 709 Preset Gamut 2 to 2020	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Preset Gamut 1 to DCI Preset Gamut 2 to DCI	オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Gamut LUT 1 ～ Gamut LUT 8	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
HDRレンジ	HDR表示用ガンマを選択時の表示方法を設定します。 Canon Log (HDR) :「Canon Log」が持つ0～800%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100～<u>800</u> Canon Log 2 (HDR) :「Canon Log 2」が持つ0～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100～<u>1600</u> Canon Log 3 (HDR) :「Canon Log 3」が持つ0～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100～<u>1600</u> SMPTE ST 2084 (PQ) :「SMPTE ST 2084 (PQ)」が持つ0.005～10,000 cd/m²(nits)のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100～<u>4000(1000)</u> Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB :「Hybrid Log-Gamma」が持つダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 上限値は、「Hybrid Log-Gamma System」の設定内容に応じて変わります。(P.45) Hybrid Log-Gamma : 100～<u>1000/2000/4000</u> Hybrid Log-Gamma RGB : 100～<u>1000/2000</u> Preset Log 1、Preset Log 2 :「Preset Log」のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) Preset Log 1 : 100～<u>1400(1000)</u> Preset Log 2 : 100～<u>3900(1000)</u> Gamma LUT1～Gamma LUT8 : LUTデータの10-bit(0～1023)のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(1刻み) 512～<u>1023</u> ※設定のしかた Canon Log (HDR)を例にとって説明します。 最大値(800%)に設定すると、Canon Logの800%のダイナミックレンジを、本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。見た目の明るさは低下しますが、映像信号に含まれるダイナミックレンジを確認できます。400%に設定すると、400%を超える部分はクリップ(階調を飽和させる)し、400%以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。 本機の表示輝度は、コントラスト設定値に対応した明るさになります。 Canon Log 800%の信号 (コントラスト : 4000) <u>Canon Log (HDR) : 800に設定</u> Canon Logのレンジ DP-V2410のレンジ 800% 400% DP-V2410のレンジに割りつけて階調を再現する(輝度は低下する) <u>Canon Log (HDR) : 400に設定</u> Canon Logのレンジ DP-V2410のレンジ 800% 400% クリップ(階調を飽和させる) 400% コントラスト設定に対応した輝度値

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)																
Input Transform	「ピクチャーモード」が「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」選択時、「3G-SDI RAW」の信号に(48)、ACES Input Transformを適用するかを設定します。 オート ：自動で適用します。 オフ ：適用しません。																
Output Transform	「ピクチャーモード」が「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」選択時に、「ガンマ」、「カラーガマット」に代わって表示されます。 ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、DCI-P3 ：ACESproxyをそれぞれのモードに変換します。																
Output Transform Surround	「ピクチャーモード」が「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」選択時に、「ガンマ」、「カラーガマット」に代わって表示されます。 Dim Surround ：ACESproxyで規定されているDim Surround処理を有効にします。 Dark Surround ：ACESproxyで規定されているDark Surround処理を有効にします。																
カラーレンジ	量子化レンジを設定します。 オート ：信号情報から自動的にレンジを設定します。 フル(0-1023) ： 黒レベル：0 白レベル：255(8-bit)/1023(10-bit)/4095(12-bit) SDIフル(4-1019) ：黒と白のレンジを制限します。 黒レベル：1(8-bit)/4(10-bit)/16(12-bit) 白レベル：254(8-bit)/1019(10-bit)/4079(12-bit) リミテッド1(64-940) ：黒と白のレンジを制限します。 黒レベル：16(8-bit)/64(10-bit)/256(12-bit) 白レベル：235(8-bit)/940(10-bit)/3760(12-bit) リミテッド2(64-1023) ：黒のレンジを制限します。 黒レベル：16(8-bit)/64(10-bit)/256(12-bit) 白レベル：255(8-bit)/1023(10-bit)/4095(12-bit)  メモ 「ピクチャーモード」の「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」を選択時は、設定できません。 「オート」時の動作は、次のとおりです。 - カメラのメタデータにカラーレンジの設定が含まれている場合は、その設定内容に応じて設定されます。 - HDMI選択時は、HDMI信号情報により「フル(0-1023)」または「リミテッド1(64-940)」に自動設定。 - SDI選択時は、「ピクチャーモード」、「カラーガマット」、「ガンマ」の設定内容に応じて設定されます。 <table><tr><th></th><th>設定内容</th><th>設定されるカラーレンジ</th></tr><tr><td>ピクチャーモード</td><td>DCI-P3</td><td rowspan="3">フル(0-1023)</td></tr><tr><td>カラーガマット</td><td>DCI-P3、Cinema Gamut to DCI、DCI-P3+ to DCI</td></tr><tr><td>ガンマ</td><td>Canon Log(HDR)、Canon Log 2(HDR)、Canon Log 3(HDR)</td></tr><tr><td></td><td>Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3</td><td>リミテッド2(64-1023)</td></tr><tr><td>上記以外</td><td></td><td>リミテッド1(64-940)</td></tr></table> 「フォーマット」→「ICtCp」の場合の動作は、次のとおりです。 「カラーレンジ」の「SDIフル」を選択時、「波形モニター」の信号が変化します。(10-bit映像の場合、「4-1019」信号が「0-1023」として表示されます。) 1端子入力(「Single Input A」～「Single Input D」)またはHDMI信号が1入力)を全画面表示時、左右画面で異なる「ピクチャーモード」が設定されている場合は、左画面の「ピクチャーモード」の「カラーレンジ」になります。		設定内容	設定されるカラーレンジ	ピクチャーモード	DCI-P3	フル(0-1023)	カラーガマット	DCI-P3、Cinema Gamut to DCI、DCI-P3+ to DCI	ガンマ	Canon Log(HDR)、Canon Log 2(HDR)、Canon Log 3(HDR)		Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3	リミテッド2(64-1023)	上記以外		リミテッド1(64-940)
	設定内容	設定されるカラーレンジ															
ピクチャーモード	DCI-P3	フル(0-1023)															
カラーガマット	DCI-P3、Cinema Gamut to DCI、DCI-P3+ to DCI																
ガンマ	Canon Log(HDR)、Canon Log 2(HDR)、Canon Log 3(HDR)																
	Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3	リミテッド2(64-1023)															
上記以外		リミテッド1(64-940)															

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
CDL/User LUT	CDLまたはUser LUTの各種設定をします。 タイプ(CDL、User LUT、オフ)：タイプを選択します。 ■「CDL」を選択時 CDLプリセット：CDLのプリセットを選択します。 CDL 1 ~ CDL 15 Power：画像のガンマを調整します。(0.01刻み) 0.50 ~ 4.00(1.00) Saturation：画像の彩度を調整します。(0.001刻み) 0.000 ~ 2.000(1.000) Offset：画像の黒レベルを調整します。(0.001刻み) -1.000 ~ 1.000(0.000) Slope：画像の白レベルを調整します。(0.001刻み) 0.000 ~ 2.000(1.000) CDL/User LUTバイパス：「オン」にすると、CDLでの調整結果を一時的に無効にし、調整前の画質に戻すことができます。 オン、オフ 詳細設定 CDLエクスポート：CDLでの調整値をエクスポートします。 CDLプリセット(CDL 1 ~ CDL 15、すべて)、ファイル形式(CCC、CDL)、実行 CDLインポート：CDLでの調整値をインポートします。 ファイル名、CDLプリセット(CDL 1 ~ CDL 15)、実行 CDLプリセット名：半角英数字記号16文字以内で、プリセットモードの名称を設定できます。 CDLアンカー：「Power」、「Saturation」、「Offset」、「Slope」の各調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます。(アンカーポイントの設定) CDLリセット：CDLでの調整値をリセットします。 ■「User LUT」を選択時 User LUT：User LUTのプリセット、またはARRI社製シネマカメラ用LUTプリセットを設定します。 User LUT 1 ~ User LUT 8、ARRI LUT 709、ARRI LUT 2020、ARRI LUT 2020 PQ 1K、ARRI LUT 2020 PQ 2K CDL/User LUTバイパス：「オン」にすると、User LUTを適用する前の画質に戻すことができます。 オン、オフ  メモ 「User LUT」を選択している場合、「CDL」の全項目、「クロマ」および「ブルーオンリー」は操作できません。 「ARRI LUT 709」は、「ピクチャーモード」が「ITU-R BT.709」または「User 1-7」を選択時に、設定できます。 「ARRI LUT 2020」、「ARRI LUT 2020 PQ 1K」または「ARRI LUT 2020 PQ 2K」は、「ピクチャーモード」が「ITU-R BT.2020」または「User 1-7」を選択時に、設定できます。 「ARRI LUT 2020 PQ 1K」を選択時、「HDRレンジ」→「SMPTE ST 2084 (PQ)」の設定は「1000」になります。 「ARRI LUT 2020 PQ 2K」を選択時、「HDRレンジ」→「SMPTE ST 2084 (PQ)」の設定は「2000」になります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
詳細設定	ピクチャーモードの詳細な設定をします。
ブースト (コントラスト)	輝度を上げることができます。 オン：1500～4000 オフ：0～1500  メモ - 右画面のピクチャーモードでは設定できません。左画面の設定値に固定されます。 「オフ」を選択すると、「HDR/SDR比較表示」も「オフ」になります。
LUTインポート	LUTのインポートができます。インポートできるファイルの名称は、英数字記号(半角)で48文字までです(拡張子を含む)。 ファイル名：ファイル名を選択します。 LUTタイプ(User LUT、Gamma LUT、Gamut LUT)：LUTの種類を選択します。 LUT選択：User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8を選択します。 基準カラーガマット(SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、Adobe RGB、DCI-P3、Native)：「LUTタイプ」で「Gamut LUT」を選択した場合に、LUT作成時に使用した色域を選択します。 実行：インポートを実行します。
LUT名	半角英数字記号24文字以内で、LUTの名称を設定できます。 LUTタイプ(User LUT、Gamma LUT、Gamut LUT)：LUTの種類を選択します。 LUT選択：User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8を選択します。 名称入力：LUTの名称を入力します。
LUT消去	インポートしたLUTを消去します。 LUTタイプ(User LUT、Gamma LUT、Gamut LUT)：LUTの種類を選択します。 LUT選択：User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8を選択します。 消去：消去を実行します。
YCbCr カラーマトリクス	入力信号がYCbCrフォーマットのときのマトリクス変換方法を設定します。 オート：「ピクチャーモード」または「カラーガマット」の設定が「ITU-R BT.2020」のときはITU-R BT.2020規格、それ以外はITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 ITU-R BT.709：ITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 ITU-R BT.2020：ITU-R BT.2020規格に準拠したマトリクス係数を設定します。
2020 コンスタントルミナンス	「ピクチャーモード」または「カラーガマット」の「ITU-R BT.2020」選択時のカラーマトリクスの変換方法を設定します。 コンスタント：YUV信号をリニアに変換した後、RGB信号に変換します。 ノンコンスタント：YUV信号をガンマ0.45のままRGB信号に変換します。  メモ - SD-SDIは「ノンコンスタント」固定です。 1端子入力(「Single Input A」～「Single Input D」)またはHDMI信号が1入力)を全画面表示時、左右画面で異なる「ピクチャーモード」が設定されている場合は、「ノンコンスタント」固定です。
2020 ガマットマッピング	「ピクチャーモード」または「カラーガマット」の「ITU-R BT.2020」選択時に設定します。 ガマットマッピング：ネイティブ色域外の色をキヤノン独自の方式でマッピングします。 クリッピング：ネイティブ色域外の色を一般的な方式でクリップします。

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
Hybrid Log-Gamma System		「ガンマ」の「Hybrid Log-Gamma」または「Hybrid Log-Gamma RGB」を選択時、ピーク輝度を設定します。 各設定値の最大値が、「HDRレンジ」の上限値になります。 ■ 「Hybrid Log-Gamma」を選択時 <u>γ1.2 - 1000 cd/m²</u>、<u>γ1.325 - 2000 cd/m²</u>、<u>γ1.45 - 4000 cd/m²</u> ■ 「Hybrid Log-Gamma RGB」を選択時 <u>γ1.2 - 1000 cd/m²</u>、<u>γ1.2 - 2000 cd/m²</u>
HDR/SDR 比較表示		HDR(High Dynamic Range)とSDR(Standard Dynamic Range)の表示を比較できます。 オン：右画面の「コントラスト」をSDR用の輝度に調整します。 オフ：比較表示をしません。 📌 メモ - 右画面の「ピクチャーモード」を選択時は、設定できません。 - 左右画面の「ピクチャーモード」が同じ場合は、設定できません。 「オン」を選択すると、「ブースト(コントラスト)」も「オン」になります。
キャリブレーション		「ピクチャーモード」の「User 1-7」選択時、設定した目標値をもとにキャリブレーションを実行します。 ルミナンス：目標輝度を設定します。 48 ~ 150(100) cd/m² 色温度：目標色温度を設定します。 D93、D65、D61、D60、D56、D50、DCI-P3：プリセットの色温度を選択します。 カスタム(xy)：CIE x, y で0.001刻みの調整ができます。 x : 0.260 ~ 0.360(0.313) / y : 0.260 ~ 0.360(0.329) カラーガマット：色域を設定します。 SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3 ガンマ：目標ガンマを設定します。 2.2、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886 スタート：キャリブレーションを実行します。 📌 メモ 「ルミナンス」を高輝度に設定した場合、「色温度」の設定内容によっては、輝度の調整範囲を越えて、目標値より低い輝度でキャリブレーションされる場合があります。その場合は、「ルミナンス」を再設定してください。 - 右画面の「ピクチャーモード」では、キャリブレーションは実行できません。
ピクチャーモードコピー		「ピクチャーモード」の「User 1-7」選択時、ピクチャーモードを選択してその内容をコピーします。選択できるモードは次のとおりです。 ピクチャーモード：SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3、User 1-7(現設定値以外) 実行：コピーを実行します。 📌 メモ 「User 1-7」以外のピクチャーモードの場合は、工場で行ったキャリブレーション結果がコピーされます。
ピクチャーモード名		「User 1-7」の名前を、半角英数字記号16文字以内で変更できます。
画質設定アンカー		「コントラスト」、「ブライトネス」、「クロマ」、「シャープネス」、「HDRレンジ」の調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます(アンカーポイントの設定)。 OK：アンカーポイントを設定します。 キャンセル：アンカーポイント設定を実行せずに、1つ前の画面に戻ります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
画質設定リセット	「ピクチャーモード」の設定内容を工場出荷時に戻します。キャリブレーションを実行している「User 1-7」モードは、工場出荷時ではなくキャリブレーション後の設定内容に戻ります。 選択すると「画質設定の設定値を初期状態に戻しますか?」というメッセージが表示されます。 OK：リセットを実行します。 キャンセル：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。

各「ピクチャーモード」の工場出荷時の設定内容は次のとおりです。

設定項目		SMPTE-C	EBU	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB
コントラスト		1000	1000	1000	1000	1000
ブライトネス		0	0	0	0	0
クロマ		1000	1000	1000	1000	1000
シャープネス		0	0	0	0	0
ローカルディミング		強	強	強	強	強
色温度	プリセット	D65	D65	D65	D65	D65
	x	0.313	0.313	0.313	0.313	0.313
	y	0.329	0.329	0.329	0.329	0.329
	ゲインR/G/B	1023	1023	1023	1023	1023
	バイアスR/G/B	0	0	0	0	0
ガンマ		2.2	2.35	2.2	2.2	2.2
カラーガマット		SMPTE-C	EBU	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB
カラーレンジ		オート	オート	オート	オート	オート
Input Transform		—	—	—	—	—
Output Transform		—	—	—	—	—
Output Transform Surround		—	—	—	—	—
CDLプリセット		CDL 1	CDL 2	CDL 3	CDL 4	CDL 5
User LUT		User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1
ブースト(コントラスト)		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミナンス		ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント
2020 ガマットマッピング		ガマットマッピング	ガマットマッピング	ガマットマッピング	ガマットマッピング	ガマットマッピング
Hybrid Log-Gamma System		$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$
HDR/SDR比較表示		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名		—	—	—	—	—

設定項目		DCI-P3	User 1	User 2	User 3	User 4-7	CINEMA EOS SYSTEM	ACESproxy (Ver. 1.0.1)
コントラスト		480	4000	4000	4000	1000	4000	480
ブライトネス		0	0	0	0	0	0	0
クロマ		1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
シャープネス		0	0	0	0	0	0	0
ローカルディミング		強	強	強	強	強	強	強
色温度	プリセット	DCI-P3	D65	D65	DCI-P3	D65	D65	D60
	x	0.314	0.313	0.313	0.314	0.313	0.313	0.322
	y	0.351	0.329	0.329	0.351	0.329	0.329	0.338
	ゲインR/G/B	1023	1023	1023	1023	1023	1023	1023
	バイアスR/G/B	0	0	0	0	0	0	0
ガンマ		2.6	SMPTE ST 2084 (PQ)	Hybrid Log- Gamma	SMPTE ST 2084 (PQ)	2.2	Canon Log 2 (HDR)	—
カラーガマット		DCI-P3	ITU-R BT.2020	ITU-R BT.2020	DCI-P3	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	—
カラーレンジ		オート	オート	オート	オート	オート	オート	オート
Input Transform		—	—	—	—	—	—	オート
Output Transform		—	—	—	—	—	—	DCI-P3
Output Transform Surround		—	—	—	—	—	—	Dark Surround
CDLプリセット		CDL 6	CDL 7	CDL 8	CDL 9	CDL 10-13	CDL 14	CDL 15
User LUT		User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1
ブースト(コントラスト)		オフ	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート	オート	オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミ ナンス		ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント
2020 ガマットマッピング		ガマット マッピング	ガマット マッピング	ガマット マッピング	ガマット マッピング	ガマット マッピング	ガマット マッピング	ガマット マッピング
Hybrid Log-Gamma System		$\gamma 1.2 -$ 1000 cd/m ²	$\gamma 1.2 -$ 1000 cd/m ²	$\gamma 1.2 -$ 1000 cd/m ²	$\gamma 1.2 -$ 1000 cd/m ²	$\gamma 1.2 -$ 1000 cd/m ²	$\gamma 1.2 -$ 1000 cd/m ²	$\gamma 1.2 -$ 1000 cd/m ²
HDR/SDR比較表示		オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名		—	User 1 (2020 PQ)	User 2 (2020 HLG)	User 3 (DCI PQ)	—	—	—

チャンネル設定

入力信号に関する設定を行うときに使うメニューです。「セレクトチャンネル」からチャンネルを選択して、設定します。
※「対応信号フォーマット」(80)

項目	設定内容
セレクトチャンネル	チャンネル番号を表示して、チャンネルを切り換えます。また、各チャンネルには、「チャンネル設定」の各内容を設定できます(51)。 CH1 ~ CH30 メモ チャンネルを切り換えるとき、10秒程度時間がかかる場合があります。
入力設定	入力を選択します。工場出荷時の設定内容はチャンネルによって異なります(51)。 3G/HD-SDI、3G-SDI RAW、SD-SDI、HDMI、－(未設定)
入力信号選択	信号の表示方法を設定します(17)。 オート：入力信号に合わせて、自動で判別します。 Quad Input：4つの入力信号(Input A ~ Input D)を表示します。 Dual Input A,B：2つの入力信号(Input A端子とInput B端子)を表示します。 Dual Input C,D：2つの入力信号(Input C端子とInput D端子)を表示します。 Single Input A、Single Input B、Single Input C、Single Input D：1つの入力信号(Input A ~ Input Dのいずれかの端子)を表示します。 メモ - 入力信号により、設定可能な設定内容は異なります。 - SD-SDIの場合：「Single Input A ~ Single Input D」のみ選択可能です。 - HDMIの場合：「オート」固定です。
Image Division	入力信号が「3G/HD-SDI」で、「入力信号選択」が「Quad Input」または「Dual Input」の場合に、表示方法を設定します。4K映像の信号は、「Square Division」と「2 Sample Interleave」の2つの分割方式に対応しています。 ■「Quad Input」の場合 オート：Payloadをもとに、自動判別して表示します。 Square Division：4分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 2 Sample Interleave：2K/HD信号に分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 Multi View (Quad)：4入力それぞれの映像を、4画面に表示します。 ■「Dual Input A,B」または「Dual Input C,D」の場合 オート：Payloadをもとに、自動判別して表示します。 Square Division：4分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 2 Sample Interleave：2K/HD信号に分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 Dual Link 3G-SDI：Dual Linkの3G-SDI信号を、1映像として表示します。 Multi View (Dual)：2入力それぞれの映像(Input A,BまたはInput C,D)を、2画面に表示します。  入力信号選択：Quad Input、Image Division：Suquare Division

項目	設定内容
フォーマット	カラーフォーマットと信号の階調を設定します。 ■ SDI信号の場合 オート、4:2:2 YCbCr 10-bit、4:2:2 YCbCr 12-bit、4:4:4 YCbCr 10-bit、4:4:4 YCbCr 12-bit、4:2:2 ICtCp 10-bit、4:2:2 ICtCp 12-bit、4:4:4 ICtCp 10-bit、4:4:4 ICtCp 12-bit、4:4:4 RGB 10-bit、4:4:4 RGB 12-bit、4:4:4 XYZ 10-bit、4:4:4 XYZ 12-bit ■ HDMI信号の場合 オート、4:4:4 XYZ 12/10-bit 📌 メモ - 設定内容にかかわらず、HD-SDI信号は「4:2:2 YCbCr 10-bit」になります。 「SD-SDI」は「4:2:2 YCbCr 10-bit」固定です。 「3G-SDI RAW」は「オート」固定です。 - ICtCp方式の信号を正しく表示するための各設定は、次のとおりです。 「ピクチャーモード」:「ITU-R BT.709」または「ITU-R BT.2020」 「カラーガマット」:「ITU-R BT.709」または「ITU-R BT.2020」 「ガンマ」:「SMPTE ST 2084 (PQ)」、 「Hybrid Log-Gamma」または「Hybrid Log-Gamma RGB」 - SDI信号のICtCp方式を取り扱いたい場合には、信号に合わせて「4:2:2 ICtCp 10-bit」、「4:2:2 ICtCp 12-bit」、「4:4:4 ICtCp 10-bit」または「4:4:4 ICtCp 12-bit」を選択してください。 「オート」を選択した場合、A→B→C→Dの優先順位で選択されたPayloadで処理されます。 - SDI信号の4:4:4 XYZ 10-bitを取り扱いたい場合には、「4:4:4 XYZ 10-bit」を選択してください。4:4:4 RGB 10-bitフォーマットで出力されたRGBデータの中に、XYZデータが入っている信号として扱います。
音声端子	音声端子を設定します。「入力信号選択」の設定内容によって、選択できる端子が異なります。 「Quad Input」のとき：オート、Input A、Input B、Input C、Input D 「Dual Input A,B」のとき：オート、Input A、Input B 「Dual Input C,D」のとき：オート、Input C、Input D オート：入力信号に合わせて、自動で判別します。 📌 メモ 「入力信号選択」が「オート」または「Single Input」の場合、「オート」固定です。
Marker/TC/WFM/VEC 端子	「Multi View (Quad)」または「Multi View(Dual)」表示時、各種マーカー（グリッドマーカーを除く）、タイムコード、波形モニター、ベクトルスコープ、カメラインフォメーション表示の対象となる端子を設定します。（カメラインフォメーションは、「Multi View (Quad)」表示時のみ） 「オート」または「Quad Input」のとき：Input A、Input B、Input C、Input D 「Dual Input A,B」のとき：Input A、Input B 「Dual Input C,D」のとき：Input C、Input D 📌 メモ 「MultiView (Quad)」または「MultiView (Dual)」以外の場合は、無効です。
インターナルシンク	「Square Division」を選択時、4入力を同期させるかを設定します。 オン：強制的に同期をとります。 オフ：同期をとりません。
チャンネル名	選択したチャンネルに、名前を設定します。入力できる文字は英数字記号（半角）で、16文字までです。

項目	設定内容
ピクチャーモード	ピクチャーモードを設定します。 SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3、User 1(2020 PQ)、User 2(2020 HLG)、User 3(DCI PQ)、User 4 ~ User 7、CINEMA EOS SYSTEM、ACESproxy (Ver. 1.0.1)
ピクチャーモード R	右画面の「ピクチャーモード」を設定します。 SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3、User 1(2020 PQ)、User 2(2020 HLG)、User 3(DCI PQ)、User 4 ~ User 7、CINEMA EOS SYSTEM －(未設定)：画面全体が「ピクチャーモード」で設定された画質となり、左右画面で異なる画質になりません。  メモ • 左画面の「ピクチャーモード」が「ACESproxy (Ver. 1.0.1)」のときは、設定できません。
1入力Dual View	「Image Division」→「Multi View(Quad)」または「Multi View(Dual)」以外のとき、入力映像を縮小して、2画面で表示することができます。 オート：左右画面の「ピクチャーモード」が異なる場合、または「ファンクション設定」の機能*が「オン」のときに、自動的に同じ画像を並べて、2画面比較表示します。4K映像は縮小して表示されます。 *「ピーキング」、「フォルスカラー」、「各種ファンクション」の「モノクロ」、「レッドオフ」、「グリーンオフ」、「ブルーオフ」、「2020 709色域外表示」 オフ  メモ • 非対応の信号が入力されている場合は、無効です。
セパレーター	次の場合に、画面の境界線を表示します。 - 左右画面の「ピクチャーモード」が異なるとき - 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」のとき - 「1入力Dual View」が「オート」で動作している場合 ホワイト、ブラック、オフ

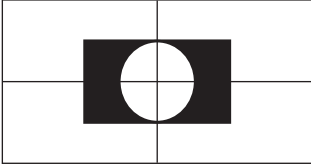
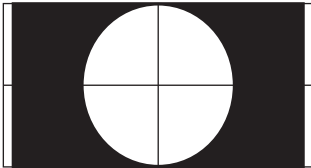
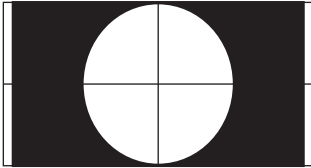
各チャンネルの工場出荷時の設定内容は表のとおりです。

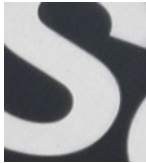
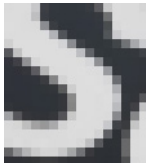
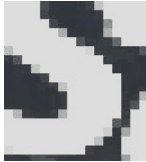
CH	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5
入力設定	3G/HD-SDI	HDMI	3G-SDI RAW	3G/HD-SDI	3G/HD-SDI
入力信号選択	オート	オート	オート	オート	オート
Image Division	オート	オート	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート	オート	オート
音声端子	オート	オート	オート	オート	オート
Marker/TC/WFM/VEC端子	Input A	Input A	Input A	Input A	Input A
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード	ITU-R BT.709	ITU-R BT.709	CINEMA EOS SYSTEM	User 1 (2020 PQ)	User 1 (2020 PQ)
ピクチャーモード R	－(未設定)	－(未設定)	－(未設定)	－(未設定)	ITU-R BT.709
1入力 Dual View	オフ	オフ	オフ	オート	オフ
セパレーター	オフ	オフ	オフ	オフ	ホワイト

CH	CH6	CH7	CH8	CH9	CH10～CH30
入力設定	3G/HD-SDI	3G/HD-SDI	3G/HD-SDI	3G/HD-SDI	－(未設定)
入力信号選択	オート	オート	オート	オート	オート
Image Division	オート	オート	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート	オート	オート
音声端子	オート	オート	オート	オート	オート
Marker/TC/WFM/VEC端子	Input A	Input A	Input A	Input A	Input A
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード	User 1 (2020 PQ)	User 2 (2020 HLG)	User 2 (2020 HLG)	User 2 (2020 HLG)	ITU-R BT.709
ピクチャーモード R	ITU-R BT.709	－(未設定)	ITU-R BT.709	ITU-R BT.709	－(未設定)
1入力 Dual View	オート	オート	オフ	オート	オフ
セパレーター	オフ	オフ	ホワイト	オフ	オフ

ディスプレイ設定

表示のしかたを設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
スクリーン スケーリング	画像をスケーリングして画面にどのように表示するかを設定します。 Native Input Resolution：スケーリングをせずに入力信号をそのまま表示します。  1920x1080(オリジナル) 200%：縦横2倍に拡大します。  1920x1080→3840x2160 オート：画面全体に拡大して表示します。  1920x1080→3840x2160  メモ • 次の場合、「オート」を選択しても、拡大率は最大200%です。 - 「ピーキング」または「フォルスカラー」が「オン」の場合
アナモフィック	アナモフィックレンズを使って撮影した映像を確認するときに設定します。設定した倍率に応じて表示します。 x2.0、x1.5、x1.33、オフ  メモ • 次の場合、設定は無効になります。 - 「ピーキング」または「フォルスカラー」が「オン」の場合 - 画像がズーム表示されているとき

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
スケーリング法	「スクリーンスケーリング」の「200%」または「オート」を選択した場合の、補間法を設定します。 シェーブトレース：ジャギーが目立たない滑らかな斜め線が再現できる、キヤノンオリジナルの処理です。  バイキュービック：隣接する画素の情報を利用して補間画素を作る一般的な補間処理です。  ニアレストネイバー：最も近くの画素の情報を用いて新しい画素を作る(コピー)処理です。元の画素をそのまま拡大して確認する場合には適しますが、ジャギーが目立ちます。 
ズーム	映像の一部分を拡大します。ズーム機能は、解像度が「4096×2160」、「3840×2160」、「2048×1080」、「1920×1080」の場合に使用できます。 ズームプリセット：ズームの表示方法を設定します。3つのプリセットがあります。 ズーム1、ズーム2、ズーム3、オフ 倍率：ズームの表示倍率を設定します。 x2、x4、x8 ポジション：ズーム調整画面が表示されます。ジョグダイヤルを使って、表示位置を調整します。  メモ - 次の場合、ズーム機能は使用できません。 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 - テストパターンを表示中 - キャリブレーションが開始されたとき 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時 - 左右画面で異なる「ピクチャーモード」が設定され、いずれか片方の画面の「2020 コンスタントルミネランス」が「コンスタントルミネランス」のとき - ズーム機能を使用中、下記は表示されません。 バックグラウンドカラー、各種マーカー、波形モニター、ベクトルスコープ - ズーム機能の設定を変更すると、「フレームホールド」は「オフ」になります。 - 解像度が「2048×1080」または「1920×1080」の場合、「倍率」を「x2」に設定しても表示位置は変更できません。 - 左右画面で異なる「ピクチャーモード」が設定されている場合、左画面の「ピクチャーモード」の設定値になります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
フレームホールド	映像を一時停止します。 オン、<u>オフ</u>  メモ • 「ピーキング」が「オン」の場合、設定できません。 • 映像を一時停止中に画質設定を変更した場合、正しく設定が反映されないことがあります。
バックグラウンドカラー	黒帯と映像との境界を確認するために、黒帯の色を設定します。 ホワイト、<u>グレー</u>、<u>オフ</u>  メモ • 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時は、設定できません。
I/PsF	インターレース信号またはPsF信号を、どのように表示するか設定します。 オート：Payloadを元に自動判別し表示します。Payloadがない場合には、インターレースとして表示します。 インターレース：インターレースとして表示します。 PsF：PsFとして表示します。
PsF	PsF信号をどのように表示するか設定します。 プログレッシブ：対になる2フィールドを検知し、画質を優先して補間します。 インターレース：隣接する2フィールドを用いて速度を優先して補間します。
I/P変換	インターレース信号のI/P変換法を設定します。 画質優先：画質を優先するモードです。「速度優先」より処理時間は長くなります。 速度優先：速度を優先するモードです。
フィルムケイデンス	フィルムケイデンスモードを設定します。 2-2：2-2プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。 2-3：2-3プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。 2-3-3-2：2-3-3-2プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。 オフ：フィルムケイデンスモード設定によるプログレッシブ変換を行いません。  メモ • 「I/P変換」が「画質優先」の場合にのみ設定できます。 • 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時は、設定できません。「オフ」固定になります。

オーディオ設定

ヘッドホン端子からの音声出力を設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
SDIグループ	SDI音声入力時、入力する音声グループを切り換えます。 CH1－CH8、CH9－CH16
CH L/R(SDI)	ヘッドホンの2チャンネル(L/R)にどの音声を出力するかをそれぞれ設定します。「SDIグループ」に応じて選択肢が変わります。 「SDIグループ」の「CH1-CH8」選択時： CH1－CH8 「SDIグループ」の「CH9-CH16」選択時： CH9－CH16
CH L/R(HDMI)	ヘッドホンの2チャンネル(L/R)に、どの音声を出力するかをそれぞれ設定します。 CH1－CH8
音量	音量を設定します。 0～100(30)
音声切換	ステレオ出力を設定します。 L R、L、R、MIX(L+R)

マーカー設定

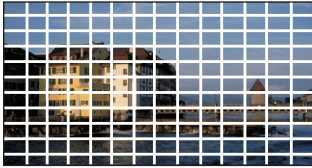
各種マーカーを設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
マーカープリセット	マーカーをカスタマイズして、マーカー1～5に設定します。 マーカー1～5、オフ
アスペクトマーカー	アスペクトマーカーとは、指定されたアスペクト比で範囲を表示するものです。   メモ 次の場合、アスペクトマーカーは表示されません。 ・ 無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択したとき ・ 画像がズーム表示されているとき ・ 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」実行中のとき ・ 「テストパターン」が表示されているとき
表示	アスペクトマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
マスク	マスクの色を切り換えます。マスクとは、マーカーの範囲外のブランキングエリアです。 ブラック：  ハーフ(50%グレー)：  オフ： マスクを表示しません。
アスペクト比	アスペクトマーカーのアスペクト比を設定します。 16:9、15:9、14:9、13:9、4:3、2.39:1、2.35:1、1.896:1、1.85:1、1.66:1、バリエابل 「バリエابل」を選択すると、数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。 1.00:1～3.00:1(1.78:1)
ライン	「マスク」で「ブラック」または「ハーフ」選択時に、アクティブになります。マスク上の線の表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
ラインの太さ	アスペクトマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
	ラインの色	アスペクトマーカの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ
	ラインの明るさ	アスペクトマーカの線の明るさを設定します。 明、暗
	Hポジション	設定されたアスペクトのまま、水平位置を移動できます。 -65 ~ 65(0)
	Vポジション	設定されたアスペクトのまま、垂直位置を移動できます。 -35 ~ 35(0)
セーフティゾーン マーカ1、2		セーフティゾーンマーカは2種類を設定できます。設定項目は1、2共通です。セーフティゾーンマーカとは、映像の安全範囲(実際に映る範囲)を設定して、映像を確認するものです。   メモ 次の場合、セーフティゾーンマーカは表示されません。 ・無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択したとき ・画像がズーム表示されているとき ・「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」実行中のとき ・「テストパターン」が表示されているとき
表示		セーフティゾーンマーカの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
アスペクト比		セーフティゾーンマーカのアスペクト比を設定します。 16:9、15:9、14:9、13:9、4:3、2.39:1、2.35:1、1.896:1、1.85:1、1.66:1、バリエابل 「バリエابل」を選択すると、数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。 1.00:1 ~ 3.00:1(1.78:1)  メモ ・「エリアのサイズ」で「バリエابل(ドット)」が設定されている場合、「アスペクト比」は選択できません。
エリアの サイズ		セーフティゾーンマーカのサイズを設定します。 80%、88%、90%、93%、バリエابل(%）、バリエابل(ドット) 「バリエابل(%)」を選択すると、グレー表示されていた「倍率(%)」がアクティブになります。「バリエابل(ドット)」を選択すると、グレー表示されていた「幅(ドット)」と「高さ(ドット)」がアクティブになります。スライダーを動かすことで設定できます。
倍率(%)		「エリアのサイズ」で「バリエابل(%)」を選択したときにアクティブになります。スライダーを動かすことにより、1%単位で現在表示されているマーカに対する比率を設定できます。 50 ~ 100(80)
幅(ドット)		「エリアのサイズ」で「バリエابل(ドット)」を選択したときにアクティブになります。スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。 360 ~ 4096(3276)
高さ(ドット)		「エリアのサイズ」で「バリエابل(ドット)」を選択したときにアクティブになります。スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。 240 ~ 2160(1728)

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
エリアの形	セーフティゾーンマーカーのエリアの形を設定します。 ボックス：  ブラケット：  エンクロージャー： 
ラインの太さ	セーフティゾーンマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	セーフティゾーンマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ
ラインの明るさ	セーフティゾーンマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗
Hポジション	設定されたアスペクトとサイズのまま、水平位置を移動できます。 -65 ～ 65(0)
Vポジション	設定されたアスペクトとサイズのまま、垂直位置を移動できます。 -35 ～ 35(0)

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
エリアマーカー	エリアマーカーは、矩形を設定して所定の部分を確認するときに使用するマーカーです。   メモ 次の場合、「エリアマーカー」は表示されません。 ・ 無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択したとき ・ 画像がズーム表示されているとき ・ 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」実行中のとき ・ 「テストパターン」が表示されているとき
表示	エリアマーカーの表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ
Hポジション	矩形の描画開始位置(X座標)を設定します(2刻み)。 0 ～ 4086(240)
Vポジション	矩形の描画開始位置(Y座標)を設定します(2刻み)。 0 ～ 2150(120)
幅(ドット)	矩形の幅を設定します(2刻み)。 10 ～ 4096(240)
高さ(ドット)	矩形の高さを設定します(2刻み)。 10 ～ 2160(120)
マスク	マスク(マーカー内)の色を切り換えます。 ブラック、ハーフ、オフ
ライン	矩形輪郭の線の表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
ラインの太さ	エリアマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	エリアマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ
ラインの明るさ	エリアマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
センターマーカー	センターマーカーとは、映像の中心を表示するものです。   メモ 次の場合、「センターマーカー」は表示されません。 • 画像がズーム表示されているとき
表示	センターマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
サイズ	センターマーカーの大きさを設定します。 大、小
ラインの太さ	センターマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	センターマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ
ラインの明るさ	センターマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗
グリッドマーカー	グリッドマーカーとは、水平、垂直を確認するときに使用するマーカーです。   メモ 次の場合、「グリッドマーカー」は表示されません。 • 画像がズーム表示されているとき
表示	グリッドマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
間隔	縦横の線の間隔を設定します。 160 ドット、240 ドット、320 ドット
ラインの太さ	グリッドマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	グリッドマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ
ラインの明るさ	グリッドマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗

ファンクション設定

CINEMA EOS SYSTEMのカメラと連携する機能や映像補助機能などを設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ピーキング	ピーキングをカスタマイズして、ピーキング1、2に設定します。輪郭を着色して表示し、フォーカスの確認などに使用します。  メモ 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中は、「ピーキング」は表示できません。
表示	ピーキングの表示モードと非表示を切り換えます。 ピーキング1、ピーキング2、オフ 「ピーキング1」または「ピーキング2」の詳細な設定をします。 モノクロ：映像をモノクロ表示にします。 ピーキング1(オン、オフ)、ピーキング2(オン、オフ) 周波数：輪郭強調信号の中心周波数を設定します。 ピーキング1(低、中、高)、ピーキング2(低、中、高) レンジ：着色する帯域の幅を設定します。 -3 ~ 3(0) 色：着色の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ  メモ 「表示」は、電源を入れ直した場合、「オフ」になります。
フォルスカラー	映像の輝度レベルごとに異なる色で表示し、露出状態や輝度の分布が確認しやすくなります。  メモ 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中は、「フォルスカラー」は表示できません。
表示	フォルスカラーの表示モードと非表示を切り換えます。 フォルスカラー1、フォルスカラー2、オフ 「フォルスカラー1」または「フォルスカラー2」の各設定をします。 タイプ：着色する色の表示方法を設定します。 オート：「ガンマ」の設定内容に応じて設定します。 IRE、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma HDRレンジ：「HDRレンジ」の設定値を超えた部分のみを別の色で表示できます。 フォルスカラー1(オン、オフ)、フォルスカラー2(オン、オフ)  メモ 「表示」は、電源を入れ直した場合、「オフ」になります。 「タイプ」の「IRE」を選択時、「HDRレンジ」の設定は無効になります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
タイムコード	信号に重畳されたタイムコードを表示します。  ✎ メモ • 次の場合、タイムコードは表示できません。 - 「フレームホールド」が「オン」のとき - 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 - 「オーディオレベルメーター」と表示位置が重なったとき - 「テストパターン」を表示中
表示	タイムコードの表示、非表示を切り換えます。 オン、<u>オフ</u>
タイプ	タイプを選択します。 <u>VITC</u>、LTC ✎ メモ • HDMI信号の場合、設定は無効です。「VITC」固定になります。
サイズ	サイズを選択します。 大、<u>小</u>
ポジション	表示位置を選択します。 左上、右上、<u>左下</u>、右下 ✎ メモ • 「Multi View (Dual)」表示時、設定は無効になります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
波形モニター	波形モニターの各種設定をします。波形モニターは、横軸に映像の横解像度、縦軸に信号レベルを配置し表示します。波形モニターの右側に、使用中の「カラーレンジ」と「HDRレンジ」の情報(縦線)を表示します。 メモ - 次の場合、波形モニターは表示できません。 - 画像がズーム表示されているとき 「フレームホールド(インターレース信号またはPsF信号時)」が「オン」のとき 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されているとき 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 「テストパターン」を表示中 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時は、「Marker/TC/WFM/VEC端子」で設定した信号のみ表示されます。 「波形モニター」を「オン」にすると、「ベクトルスコープ」は「オフ」になります。 「スケール」→「オート」を選択時：左右画面で異なる「ピクチャーモード」を設定しているときは、左画面の「ガンマ」と「カラーレンジ」のスケールが表示されます。「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」の場合、「チャンネル設定」の「Marker/TC/WFM/VEC端子」で設定した端子の「ガンマ」と「カラーレンジ」のスケールが表示されます。
表示	波形モニターの表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ
信号選択	表示波形を設定します。 Y、Cb、Cr、R、G、B
表示形式	表示形式を設定します。「ライン」を選択すると、1ライン分の表示をします。 すべて、ライン 「ライン」を選択したとき、どのラインを表示するかを選択します。 ライン選択：1～2160
ポジション	表示位置を選択します。 左下、右下 メモ 「Multi View (Dual)」表示時、設定は無効になります。
スケール	波形モニターのスケールを設定します。 オート：「ガンマ」と「カラーレンジ」の設定内容に応じて設定します。 IRE、Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3、ST 2084 (PQ) Full、ST 2084 (PQ) Limited、Hybrid Log-Gamma：スケールを選択します。
基準ライン	指定した位置にガイドが表示されます。「1023」で非表示になります。 4～1023
基準レベル 高	基準表示レベル(高)を設定します。「1023」で非表示になります。 760～1023
基準レベル 低	基準表示レベル(低)を設定します。「0」で非表示になります。 0～256

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
	カラー	表示する信号と、基準レベルを超えた信号の表示色を設定します。 Y、Cb、Cr、R、G、B：信号を選択します。 選択した信号の色を選択します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ 各信号の初期値は次のとおりです。 Y(ホワイト)、Cb(ホワイト)、Cr(ホワイト)、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー) 基準レベル 高、基準レベル 低：基準レベルを選択します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ 各基準レベルの初期値は次のとおりです。 基準レベル 高(マゼンタ)、基準レベル 低(シアン)
ベクトルスコープ		ベクトルスコープの各種設定をします。ベクトルスコープは、横軸に色差信号Cb、縦軸にCrを配置し、色信号の強さや色相を表示します。 メモ - 次の場合、ベクトルスコープは表示できません。 - 画像がズーム表示されているとき 「フレームホールド(インターレース信号またはPsF信号時)」または「フォルスカラー」が「オン」のとき 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されているとき 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 「テストパターン」を表示中 「Multi View (Quad)」または「Multi View (Dual)」表示時は、「Marker/TC/WFM/VEC端子」で設定した信号のみ表示されます。 「ベクトルスコープ」を「オン」にすると、「波形モニター」は「オフ」になります。
	表示	ベクトルスコープの表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ
	ターゲット	ターゲットを設定します。 75%、100%
	ポジション	表示位置を選択します。 左下、右下 メモ 「Multi View (Dual)」表示時、設定は無効になります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
オーディオレベルメーター	オーディオレベルメーターの各種設定をします。選択したチャンネル数の音声レベルを表示します。  メモ 「フレームホールド」が「オン」、 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中、または「テストパターン」を表示中は、「オーディオレベルメーター」は表示できません。
表示	オーディオレベルメーターの表示／非表示を切り換えます。 オン、オフ
チャンネル数(SDI)	SDI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。「オーディオ設定」の「SDIグループ」に応じて選択肢が変わります。 「SDIグループ」が「CH1－CH8」選択時：2CH(CH1－CH2)、4CH(CH1－CH4)、6CH(CH1－CH6)、8CH(CH1－CH8) 「SDIグループ」が「CH9－CH16」選択時：2CH(CH9－CH10)、4CH(CH9－CH12)、6CH(CH9－CH14)、8CH(CH9－CH16)
チャンネル数(HDMI)	HDMI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。 2CH(CH1－CH2)、4CH(CH1－CH4)、6CH(CH1－CH6)、8CH(CH1－CH8)
ピークホールド	「オン」の場合、音声信号がピーク時の1秒間分を保持します。 オン、オフ
基準レベル	基準レベルを設定します。 -40 ～0(-20)
テストパターン	本機に内蔵されているテストパターンを設定します。 ホワイト、グレー(20%)、ブラック、レッド、グリーン、ブルー、Ramp、5 Step、カラーバー、PLUGE、オフ  メモ - 電源を入れ直した場合、テストパターンは表示されません。 - 次の場合、テストパターンは消去されます。 - キャリブレーションが開始されたとき - CHボタン、チャンネルアップ／ダウンが登録されたFボタン、「チャンネル設定」の「セレクトチャンネル」でチャンネルを切り換えたとき 「チャンネル設定」の「入力設定」または「入力信号選択」を切り換えたとき 「全設定リセット」を実行したとき

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
スクリーンキャプチャー	画面をキャプチャーします。
キャプチャー実行	キャプチャーを実行します。USBメモリーのルートフォルダーに「YYYYMMDD_hhmmss.bmp」というファイル名で保存します。
フレームホールド	映像を一時停止します。 オン、オフ
キャプチャー対象	キャプチャーする対象を選択します。 すべて ：マーカーや波形モニターなどの映像補助機能やOSDメニューも含めてキャプチャーします。 映像のみ ：映像信号のみキャプチャーします。
ファイル再生	キャプチャーした画像を再生します。 ファイル選択 ：ファイルを選択します。 実行 ：再生を実行します。  メモ キャプチャーした画像を、本機以外で再生すると、正確な色で再生されない場合があります。
ファイル再生終了	再生を終了します。
各種ファンクション	ファンクションリストを表示させ、機能を切り換えます。 モノクロ(オン、オフ)、ブルーオンリー(オン、オフ)、レッドオフ(オン、オフ)、グリーンオフ(オン、オフ)、ブルーオフ(オン、オフ)、2020 709色域外表示(オン、オフ)*1、バナー表示(オート、オン、オフ)*2、ファンクションボタンガイド(オン／オフ)*3、OSDポジション(モード1、モード2)*4、OSDサイズ(大、小)*5、バックライトスキャン(強、弱、オフ)*6 *1 2020 709色域外表示：「ピクチャーモード」または「カラーガマット」の「ITU-R BT.2020」を選択時、モノクロで表示し、「ITU-R BT.709」を超える色域の部分を着色して表示します。 *2 バナー表示：電源を入れたり、チャンネルを変更したりしたときに表示されるバナーの表示方法を設定します。バナーには、チャンネル名や信号情報、本機の状態が表示されます。OSD非表示中にジョグダイヤルを押したときにもバナーを表示しますが、「オート」または「オフ」のときは、約6秒後に消去します。 オート：バナーを表示したら、約4秒後に自動的に消えます。 オン：バナーを表示し続けます。 オフ：バナーを表示しません。 *3 ファンクションボタンガイド オン：OSD非表示中にジョグダイヤルを押すと、本機のFボタンに登録されている機能の一覧を表示します。 オフ：ファンクションボタンガイドを表示しません。 *4 OSDポジション モード1 (4096x2160)：OSDを4096x2160領域に表示します。 モード2 (3840x2160)：OSDを3840x2160領域に表示します。 *5 OSDサイズ：OSDメニューのサイズを「大」「小」から選択できます。 *6 バックライトスキャン：画像表示中にバックライトを部分的に消灯し、画像のホールド期間を短くします。  メモ 「CDL/User LUT」の「User LUT」を選択時、「ブルーオンリー」は設定できません。 「モノクロ」、「ブルーオンリー」、「グリーンオフ」、「ブルーオフ」、「2020 709色域外表示」は、電源を入れ直した場合、「オフ」になります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)																																																														
カメラリンク	CINEMA EOS SYSTEMのカメラ、ARRI社製シネマカメラと連携する機能を設定します。																																																														
自動画質設定 (CINEMA EOS)	「ピクチャーモード」の「CINEMA EOS SYSTEM」選択時に、カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。(「入力設定」が「3G/HD-SDI」または「3G-SDI RAW」のとき) オン、オフ 「カラーガマット/ガンマ」、「色温度」、「カラーレンジ」のすべてを「オン」にした場合には、次の設定値になります。 CINEMA EOS SYSTEMとDP-V2410の設定値対応表 <table><tr><th>CINEMA EOS SYSTEM</th><th colspan="3">DP-V2410</th></tr><tr><th>Color Space</th><th>カラーガマット</th><th>色温度</th><th>カラーレンジ</th></tr><tr><td>BT.709</td><td>ITU-R BT.709</td><td>D65</td><td rowspan="11">オート</td></tr><tr><td>BT.2020</td><td>ITU-R BT.2020</td><td>D65</td></tr><tr><td>DCI-P3</td><td>DCI-P3</td><td>DCI-P3</td></tr><tr><td rowspan="2">DCI-P3+</td><td>DCI-P3+ to 709</td><td>D65</td></tr><tr><td>DCI-P3+ to DCI-P3</td><td>DCI-P3</td></tr><tr><td rowspan="3">Cinema Gamut</td><td>Cinema Gamut to 709</td><td>D65</td></tr><tr><td>Cinema Gamut to 2020</td><td>D65</td></tr><tr><td>Cinema Gamut to DCI-P3</td><td>DCI-P3</td></tr><tr><td rowspan="3">RAW Gamut</td><td>Cinema Gamut to 709</td><td>D65</td></tr><tr><td>Cinema Gamut to 2020</td><td>D65</td></tr><tr><td>Cinema Gamut to DCI-P3</td><td>DCI-P3</td></tr></table> <table><tr><th>CINEMA EOS SYSTEM</th><th colspan="2">DP-V2410</th></tr><tr><th>ガンマ</th><th>ガンマ</th><th>HDRレンジ</th></tr><tr><td>Canon Log</td><td>Canon Log (HDR)</td><td rowspan="4">—</td></tr><tr><td>Canon Log 2</td><td>Canon Log 2 (HDR)</td></tr><tr><td>RAW Gamma</td><td></td></tr><tr><td>Canon Log 3</td><td>Canon Log 3 (HDR)</td></tr><tr><td>ST 2084、PQ</td><td>SMPTE ST 2084(PQ)</td><td>1000</td></tr><tr><td>Normal(BT.709)</td><td rowspan="3">2.2</td><td rowspan="4">—</td></tr><tr><td>Wide DR</td></tr><tr><td>EOS Std.</td></tr><tr><td>DCI-P3</td><td>2.6</td></tr></table> カラーガマット／ガンマ：カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。 オン、オフ 色温度：カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。 オン、オフ カラーレンジ：カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。 オン、オフ 表示カラーガマット：カメラの「Color Space」が「Cinema Gamut」または「DCI-P3+」の場合、ディスプレイで表示する色域を設定します。 ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、DCI-P3	CINEMA EOS SYSTEM	DP-V2410			Color Space	カラーガマット	色温度	カラーレンジ	BT.709	ITU-R BT.709	D65	オート	BT.2020	ITU-R BT.2020	D65	DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3+	DCI-P3+ to 709	D65	DCI-P3+ to DCI-P3	DCI-P3	Cinema Gamut	Cinema Gamut to 709	D65	Cinema Gamut to 2020	D65	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3	RAW Gamut	Cinema Gamut to 709	D65	Cinema Gamut to 2020	D65	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3	CINEMA EOS SYSTEM	DP-V2410		ガンマ	ガンマ	HDRレンジ	Canon Log	Canon Log (HDR)	—	Canon Log 2	Canon Log 2 (HDR)	RAW Gamma		Canon Log 3	Canon Log 3 (HDR)	ST 2084、PQ	SMPTE ST 2084(PQ)	1000	Normal(BT.709)	2.2	—	Wide DR	EOS Std.	DCI-P3	2.6
CINEMA EOS SYSTEM	DP-V2410																																																														
Color Space	カラーガマット	色温度	カラーレンジ																																																												
BT.709	ITU-R BT.709	D65	オート																																																												
BT.2020	ITU-R BT.2020	D65																																																													
DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3																																																													
DCI-P3+	DCI-P3+ to 709	D65																																																													
	DCI-P3+ to DCI-P3	DCI-P3																																																													
Cinema Gamut	Cinema Gamut to 709	D65																																																													
	Cinema Gamut to 2020	D65																																																													
	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3																																																													
RAW Gamut	Cinema Gamut to 709	D65																																																													
	Cinema Gamut to 2020	D65																																																													
	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3																																																													
CINEMA EOS SYSTEM	DP-V2410																																																														
ガンマ	ガンマ	HDRレンジ																																																													
Canon Log	Canon Log (HDR)	—																																																													
Canon Log 2	Canon Log 2 (HDR)																																																														
RAW Gamma																																																															
Canon Log 3	Canon Log 3 (HDR)																																																														
ST 2084、PQ	SMPTE ST 2084(PQ)	1000																																																													
Normal(BT.709)	2.2	—																																																													
Wide DR																																																															
EOS Std.																																																															
DCI-P3	2.6																																																														

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)																																																	
自動画質設定 (ARRI)	「ピクチャーモード」の「User 6 ～ User 7」選択時、カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。(「入力設定」が「3G/HD-SDI」のとき) オン、オフ 「CDL/User LUT」→「User LUT」で、「ARRI LUT」を選択時、次の設定値になります。 ARRI社製シネマカメラとDP-V2410の設定値対応表 <table><tr><th>ARRI社製 シネマカメラ</th><th colspan="6">DP-V2410</th></tr><tr><th>Color Space</th><th>表示カラー ガンマット</th><th>CDL/ User LUT*</th><th>カラー ガンマット</th><th>ガンマ</th><th>HDR レンジ</th><th>カラー レンジ</th></tr><tr><td>REC 709</td><td>—</td><td>ARRI LUT 709</td><td>ITU-R BT.709</td><td>2.2</td><td>—</td><td rowspan="2">オート (リミテッド1)</td></tr><tr><td>REC 2020</td><td>—</td><td>ARRI LUT 2020</td><td>ITU-R BT.2020</td><td>2.2</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">Wide Gamut Log C</td><td>ITU-R BT.709</td><td>ARRI LUT 709</td><td>ITU-R BT.709</td><td>2.2</td><td>—</td><td rowspan="4">オート (リミテッド1)</td></tr><tr><td>ITU-R BT.2020</td><td>ARRI LUT 2020</td><td>ITU-R BT.2020</td><td>2.2</td><td>—</td></tr><tr><td>ITU-R BT.2020 PQ 1K</td><td>ARRI LUT 2020 PQ 1K</td><td>ITU-R BT.2020</td><td>SMPTE ST 2084 (PQ)</td><td>1000</td></tr><tr><td>ITU-R BT.2020 PQ 2K</td><td>ARRI LUT 2020 PQ 2K</td><td>ITU-R BT.2020</td><td>SMPTE ST 2084 (PQ)</td><td>2000</td></tr></table> * 「ARRI LUT」を選択時、「CDL/User LUTバイパス」を「オン」にすると、「CDL/User LUT」は「オフ」になります。 User LUT / カラーガンマット / ガンマ：カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。 オン、オフ カラーレンジ：カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。 オン、オフ 表示カラーガンマット / ガンマ：「自動画質設定 (ARRI)」の「オン」を選択時、ディスプレイで表示する色域とガンマを設定します。 ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、<u>ITU-R BT.2020 PQ 1K</u>、<u>ITU-R BT.2020 PQ 2K</u>	ARRI社製 シネマカメラ	DP-V2410						Color Space	表示カラー ガンマット	CDL/ User LUT*	カラー ガンマット	ガンマ	HDR レンジ	カラー レンジ	REC 709	—	ARRI LUT 709	ITU-R BT.709	2.2	—	オート (リミテッド1)	REC 2020	—	ARRI LUT 2020	ITU-R BT.2020	2.2	—	Wide Gamut Log C	ITU-R BT.709	ARRI LUT 709	ITU-R BT.709	2.2	—	オート (リミテッド1)	ITU-R BT.2020	ARRI LUT 2020	ITU-R BT.2020	2.2	—	ITU-R BT.2020 PQ 1K	ARRI LUT 2020 PQ 1K	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)	1000	ITU-R BT.2020 PQ 2K	ARRI LUT 2020 PQ 2K	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)	2000
ARRI社製 シネマカメラ	DP-V2410																																																	
Color Space	表示カラー ガンマット	CDL/ User LUT*	カラー ガンマット	ガンマ	HDR レンジ	カラー レンジ																																												
REC 709	—	ARRI LUT 709	ITU-R BT.709	2.2	—	オート (リミテッド1)																																												
REC 2020	—	ARRI LUT 2020	ITU-R BT.2020	2.2	—																																													
Wide Gamut Log C	ITU-R BT.709	ARRI LUT 709	ITU-R BT.709	2.2	—	オート (リミテッド1)																																												
	ITU-R BT.2020	ARRI LUT 2020	ITU-R BT.2020	2.2	—																																													
	ITU-R BT.2020 PQ 1K	ARRI LUT 2020 PQ 1K	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)	1000																																													
	ITU-R BT.2020 PQ 2K	ARRI LUT 2020 PQ 2K	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)	2000																																													
アナモフィック	キヤノン製カメラを本機に接続時、カメラのメタデータにアナモフィックレンズの表示設定が含まれている場合は、設定内容に応じて表示します。 オン、オフ																																																	
エリアマーカー	ARRI社製シネマカメラを本機に接続時、メタデータに応じて、「エリアマーカー」の「Hポジション」、「Vポジション」、「幅」、「高さ」が変わります。 ARRI Frame line 1A、ARRI Frame line 1B、<u>オフ</u>  メモ 「マーカープリセット」が「オフ」の場合は、設定できません。																																																	

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ファン	カメラのREC信号と連動してファンを停止するかを設定します。「システム設定」の「ファンコントロール」を「オン」に設定してください。 オン、オフ  メモ 「オン」で連動できるのは、本機対応のREC信号(CINEMA EOS SYSTEMのカメラ、キヤノン製業務用ビデオカメラ、ARRI社製シネマカメラ)です。 - 停止時間は、室温(25℃)でAC電源使用時は約1分、DC電源使用時は約10分です。用途に応じて使い分けてください。 - ファン停止中に本体内の温度が高くなった場合には、「温度が高くなったため、まもなくファンの回転を再開します」のメッセージが表示され、約10秒後に回転を始めます。本体の温度が高くなっているため、通常より速く回転します。 - 本体内の温度上昇により、ファンの回転が再開する時間は、カメラより早い場合があります。 - 高温下など周囲の環境によっては、ファンが停止しない場合があります。
カメラ インフォメーション	カメラ情報の表示を設定します。 オート：カメラ情報が変化したときに、4秒間自動表示します。 オン：常時カメラ情報を表示します。 オフ：カメラ情報を表示しません。

システム設定

本機のシステムに関する設定をするときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ファンクション／チャンネルボタン	FボタンやCHボタンに登録する機能やチャンネルを設定します。
ディスプレイファンクション／ディスプレイファンクション(CDL)	本機のFボタンに登録する機能を設定します。Fボタンを選択して、リストから機能を登録します(74)。工場出荷時に設定されている機能は次のとおりです。 ■通常モード時 F1：コントラスト F2：ブライトネス F3：タイムコード F4：WFM/VEC F5：オーディオレベルメーター F6：ズームプリセット F7：OSD一時消去 F8：ブースト(コントラスト) ■CDLモード時 F1：CDL R F2：CDL G F3：CDL B F4：CDL Power F5：CDL Offset F6：CDL Slope F7：CDL Saturation F8：CDL/User LUTバイパス 📝 メモ 「チャンネルアップ／ダウン」でチャンネルを切り換える場合、「入力設定」(48)が「－」のチャンネルはスキップします。 - Fボタンで「マーカ―」関連の設定を切り換えると、現在選択されている「マーカ―プリセット」の「表示」に反映されます。 「OSD一時消去」は、すべてのOSDを非表示にする機能です。「オン」を選択すると、OSD、「セパレーター」と「バックグラウンドカラー」が非表示となりますが、メニューの操作はできます。
ディスプレイチャンネル	ディスプレイのCHボタンに登録するチャンネルを設定します。 CHボタンを選択して、チャンネル番号を登録します。リストは「チャンネル設定」(48)で設定されている内容が表示されます。
言語	OSDやメッセージの表示言語を設定します。 English、日本語、簡体中文
日時	年／月／日／時／分を設定します。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ネットワーク/IMD設定	本機のネットワークと外部機器によるリモート操作のための設定をします。 ネットワーク 本機のネットワークの設定をします。 IP アドレス取得 自動：DHCP/Auto IPにより自動で取得します。 手動：IPアドレスとサブネットマスクを手動で設定します。 ディスプレイ：192.168.0.1 サブネットマスク：255.255.255.0  メモ • 「パワーオン設定」が「User 1 ～ User 3」の場合は設定できません。 インモニターディスプレイ (IMD) 本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN 端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。本機から直接、任意の文字を入力することもできます。文字は、半角英数字記号16文字以内で設定できます。( 31) コントロール：接続機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。 TSL Ver. 5.00、オフ マニュアル：本機で文字を入力するときに選択します。接続機器からの制御信号は受け付けません。 ポジション：文字とタリーの表示位置を、画面の上部または下部に設定します。 上、下 マニュアル表示種別 自動：入力設定に応じて、表示を変更します。 Single：1画面表示します。 Dual A,B、Dual C,D：2画面に表示します。 Quad A,B,C,D：4画面に表示します。 マニュアル表示名 (Single)、マニュアル表示名 (Dual/Quad A)、マニュアル表示名 (Dual/Quad B)、マニュアル表示名 (Dual/Quad C)、マニュアル表示名 (Dual/Quad D)：「コントロール」が「マニュアル」を選択時、「マニュアル表示名」のいずれかを選び、表示する文字を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。
ディスプレイ名	本機の名前を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。
電源ランプ/本体ボタンLED設定	
電源ランプ 明るさ	本機の電源ランプの明るさを調整します。数字が大きくなるほど明るくなります。 オフ、1 ～ 5(3)
本体ボタン 点灯設定	Fボタンと文字盤のランプを設定します。 オン、オフ
本体ボタン名 点灯時間(秒)	何も操作しないときに、文字盤のランプが消灯するまで時間(秒)を設定します。 60、30、10、5

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ファン設定	本体内のファンの動作を設定します。
	ファンコントロール 手動でファンを停止させるときに、内部温度の上昇を防ぐために、停止前に速く回転します。 オン、オフ ファン停止 「ファンコントロール」を「オン」にしたとき、ファンを手動で停止します。撮影や静かな環境などで使用するとき、ファンの音を消去します。 オン、オフ  メモ 「オン」を選択しても「温度が高いため、ファンを停止できません。」のメッセージが表示された場合は、停止できません。本体内部の温度が下がるまでお待ちください。 - 停止時間は、室温(25℃)でAC電源使用時は約1分、DC電源使用時は約10分です。用途に応じて使い分けてください。 - ファン停止中に本体内の温度が高くなった場合には、「温度が高くなったため、まもなくファンの回転を再開します」のメッセージが表示され、約10秒後に回転を始めます。本体の温度が高くなっているため、通常より速く回転します。 「オフ」にするとファンの回転が再開します。通常より速く回転します。 - 高温下など周囲の環境によっては、ファンが停止しない場合があります。
互換設定	HDMI機器との接続互換性を設定します。 通常：すべてのフォーマットに対応します。 互換優先1：「通常」で映像が正しく表示されない場合に設定します。ディスプレイ本体のもつ輝度以上のHDR 信号は非対応です。 互換優先2：「通常」または「互換優先1」で映像が正しく表示されない場合に設定します。HDR信号は非対応です。 互換優先3：他の設定で映像が正しく表示されない場合に設定します。 「4K50.00P/60.00P」とHDR信号は非対応です。
設定プロテクト	設定内容を変更できないようにします。MENUボタンを押した場合「シグナル／システムインフォメーション」は表示しますが、それ以外は操作できないためグレー表示になります。
	パスワード プロテクトをする場合のパスワードを設定します。数字4桁(0000～9999)です。パスワードの初期値は未設定です。
	プロテクト対象 ピクチャーモードとセレクトチャンネルは、プロテクト設定の対象からはずすことができます。 ピクチャーモード：「オン」にすると「ピクチャーモード」の設定内容をプロテクトします。「オフ」にすると、「ピクチャーモード」の設定内容をプロテクト対象からはずします。 オン、オフ セレクトチャンネル：「オン」にすると「セレクトチャンネル」の設定内容をプロテクトします。「オフ」にすると、「セレクトチャンネル」の設定内容をプロテクト対象からはずします。 オン、オフ ファンクション設定：「オン」にすると「ファンクション設定」の設定内容をプロテクトします。「オフ」にすると、「ファンクション設定」の設定内容をプロテクト対象からはずします。 オン、オフ
	プロテクト プロテクトするときは「OK」を選択します。パスワード設定時はパスワードを入力後、「OK」を選択します。 設定プロテクトの解除のしかた 「プロテクト」にフォーカスを移動させ、SETボタンを約3秒長押しします。パスワード設定時はパスワードを入力後、「OK」を選択します。
ファームウェアアップデート	ファームウェアをアップデートするときに使用します。詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)								
エクスポート／インポート	メインメニューのエクスポート／インポートの設定をします。  メモ - 次の設定内容はエクスポート／インポートされません。 <table border="1"> <tr> <td>画質設定</td><td>キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)</td></tr> <tr> <td>ディスプレイ設定</td><td>ズームプリセット、フレームホールド</td></tr> <tr> <td>ファンクション設定</td><td>ピーキング(表示)、フォルスカラー(表示)、テストパターン、各種ファンクション(モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、2020 709色域外表示)</td></tr> <tr> <td>システム設定</td><td>日時、ファン停止、エクスポート／インポート、パワーオン設定</td></tr> </table> - User LUTのデータは、「ターゲット」の「User 1 ～ User 3」にはエクスポート/インポートされません。 - 本機からエクスポートしたデータは、ファームウェアのバージョンが本機より前の製品にはインポートできない場合があります。インポートしたいときは、最新のファームウェアのバージョンにアップデートしてからお使いください。	画質設定	キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)	ディスプレイ設定	ズームプリセット、フレームホールド	ファンクション設定	ピーキング(表示)、フォルスカラー(表示)、テストパターン、各種ファンクション(モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、2020 709色域外表示)	システム設定	日時、ファン停止、エクスポート／インポート、パワーオン設定
画質設定	キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)								
ディスプレイ設定	ズームプリセット、フレームホールド								
ファンクション設定	ピーキング(表示)、フォルスカラー(表示)、テストパターン、各種ファンクション(モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、2020 709色域外表示)								
システム設定	日時、ファン停止、エクスポート／インポート、パワーオン設定								
エクスポート	ターゲット：エクスポート先を選択します。 USB：USBメモリーにエクスポートします。 User 1 ～ User 3：本体内のメモリーにエクスポートします。 ファイル名：工場出荷時の初期値は「dinfo_dpv2410.dat」です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。 実行：エクスポートを実行します。								
インポート	ターゲット：インポートするファイルの保存先を指定します。 USB、User 1 ～ User 3 ファイル名：拡張子(.dat)のファイルを表示し、選択します。 設定種別(すべて、画質設定、チャンネル設定、ディスプレイ設定、オーディオ設定、マーカー設定、ファンクション設定、システム設定)：インポートする設定を選択します。 実行：インポートを実行します。								
パワーオン設定	電源投入後のディスプレイの設定状態を選択できます。 ラストメモリー：前回の電源投入時の設定で起動します。 User 1 ～ User 3：「エクスポート」で「User 1 ～ User 3」に保存した設定で起動します。								
全設定リセット	すべての設定を工場出荷時に戻します。選択すると「すべての設定を工場出荷時の設定に戻しますか？」というメッセージが表示されます。 OK：リセットを実行します。 キャンセル：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。								

ディスプレイのFボタンに登録できる機能は、次のとおりです(70)。

項目	機能
画質設定	ピクチャーモード
	コントラスト
	ブライトネス
	クロマ
	クロマアップ
	シャープネス
	バックライトコントロール
	ガンマ
	HDR
	HDRレンジ
	ブースト(コントラスト)
	HDR/SDR比較表示
	ゲイン
	バイアス
	xy
ピクチャーモード	SMPTE-C
	EBU
	ITU-R BT.709
	ITU-R BT.2020
	Adobe RGB
	DCI-P3
	User 1(2020 PQ)
	User 2(2020 HLG)
	User 3(DCI PQ)
	User 4 ~ User 7
	CINEMA EOS SYSTEM
	ACESproxy (Ver. 1.0.1)
カラーガマット	SMPTE-C
	EBU
	ITU-R BT.709
	ITU-R BT.2020
	Adobe RGB
	DCI-P3
	Native
	Cinema Gamut to 709
	Cinema Gamut to 2020
	Cinema Gamut to DCI
	DCI-P3+ to 709
	DCI-P3+ to DCI
	Gamut LUT 1 ~ Gamut LUT 8

項目	機能
ガンマ	1.0
	2.2
	2.35
	2.4
	2.6
	ITU-R BT.1886
	Canon Log
	Canon Log(HDR)
	Canon Log 2
	Canon Log 2(HDR)
	Canon Log 3
	Canon Log 3(HDR)
	SMPTE ST 2084 (PQ)
	Hybrid Log-Gamma
CDL	Hybrid Log-Gamma RGB
	Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
	CDLプリセット
	User LUT
	CDL R
	CDL G
	CDL B
	CDL Slope
	CDL Offset
	CDL Power
	CDL Saturation
	CDL SOP/Sat
	CDL/User LUTバイパス
	CDLエクスポート/インポート
チャンネル設定	チャンネルアップ
	チャンネルダウン
	入力信号選択
	音声端子
	CH1 ~ CH20

項目	機能
ディスプレイ設定	スクリーンスケーリング
	スケーリング法
	ズームプリセット
	ズーム1
	ズーム2
	ズーム3
	フレームホールド
	バックグラウンドカラー
オーディオ設定	SDIグループ
	CH L
	CH R
	音量
	音声切換
マーカー設定	マーカープリセット
	マーカー1
	マーカー2
	マーカー3
	マーカー4
	マーカー5
	アスペクトマーカー
	セーフティゾーンマーカー1
	セーフティゾーンマーカー2
	エリアマーカー
	センターマーカー
	グリッドマーカー

項目	機能
ファンクション設定	ピーキング
	ピーキング1
	ピーキング2
	フォルスカラー
	フォルスカラー1
	フォルスカラー2
	タイムコード
	WFM/VEC
	波形モニター
	波形モニター信号選択
	ベクトルスコープ
	オーディオレベルメーター
	キャプチャー
	モノクロ
	ブルーオンリー
	レッドオフ
	グリーンオフ
	ブルーオフ
システム設定	バックライトスキャン
	2020 709色域外表示
	カメラインフォメーション
	OSD一時消去
	ファン停止

シグナルインフォメーション

信号の情報を表示します。「入力信号選択」が「Quad Input」のときは、信号全体と各入力の情報が表示できます。メニュー右上のガイドに従ってジョグダイヤルで選択してください。画面に表示されていなくても信号情報が取得されている場合には、その内容をグレースアウト表示します。

SDI信号		HDMI信号	
項目	表示例	項目	表示例
チャンネル	CH1	チャンネル	CH4
入力設定	3G/HD-SDI (3G Level A)	入力設定	HDMI
入力信号選択	Quad Input	入力信号選択	オート
Image Division	オート	フォーマット	オート
フォーマット	オート	解像度	4096x2160
解像度	4096x2160	Picture Rate, I/P/PsF	60.00P
Picture Rate, I/P/PsF*	24.00P	Pixel Encoding, Color Depth	4:2:2 YCbCr 10-bit
SDI Payload ID	89 C3 46 01	Matrix	ITU-R BT.709
Video Standard	3G-SDI	Range	フル
Sampling Structure	4:4:4:4 GBRA	EOTF	SMPTE ST 2084 (PQ)
Bit Depth	10-bit	Max Luminance (Peak/Avg.)	1000 / 500 cd/m ²
Picture Rate	24.00	Display Luminance (Max/Min)	1000 - 0.005 cd/m ²
Scanning Method	Progressive/Progressive (Transport/Picture)	White Point	x=0.313, y=0.329
Link Number	Single/Link_1	Primary Color Red	x=0.640, y=0.330
		Primary Color Green	x=0.300, y=0.600
		Primary Color Blue	x=0.150, y=0.060

* グレースアウト表示しているときに、「24.00P *」のように「Picture Rate」の精度が低いことを示す「*」が表示される場合があります。

システムインフォメーション

本機のステータスやネットワーク情報を表示します。

項目	表示例
ディスプレイ	DP-V2410
シリアルNo.	0000000000000
ファームウェアVer.	1.2
使用時間*	5 h
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	FF:FF:FF:FF:FF:FF

* 工場出荷時の検査などにより、購入時の使用時間は「0」ではない場合があります。

主な仕様／性能

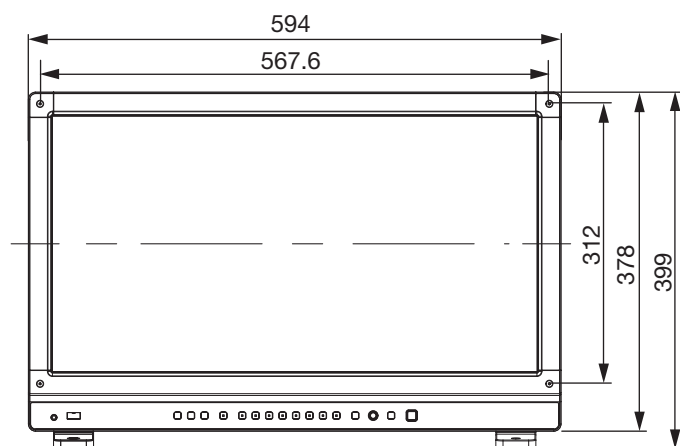
パネル		
パネルタイプ		IPS液晶パネル
画面サイズ		24型(61.1 cm)
アスペクト比		17 : 9
解像度		4096x2160 (8.8メガピクセル)
有効表示領域		約540.7×285.1 mm
ピクセルピッチ		132 μm/193 ppi
パネルドライバー		1024階調 RGB各色10-bit
画質		
輝度(標準)		100 cd/m ²
視野角(上、下、左、右)		89° (コントラスト比 10 : 1以上)
表面処理		アンチグレア
一般		
バックライト タイプ		RGB LED、直下型
電源		定格電圧 : AC 100 ~ 240 V 定格周波数 : 50/60 Hz DC 24 V ~ 28 V 最大 8.9 A、XLR端子
消費電力		最大負荷時(経年変化に伴う輝度変化を含む) : 約210 W 工場出荷状態 : 約160 W
環境条件	使用	温湿度 : 0 ~ 40 °C (20 ~ 85 % RH 結露がないこと) 推奨温度 15 ~ 30 °C 気圧 : 700 ~ 1060 hPa
	保存／輸送	温湿度 : -20 ~ 40 °C (20 ~ 85 % RH 結露がないこと) 41 ~ 60 °C (20 ~ 30 % RH 結露がないこと) 気圧 : 700 ~ 1060 hPa
外形寸法(幅×高さ×奥行き)		約594×399×187 mm(スタンド含む)、約594×378×106 mm(本体のみ、突起部除く)
質量		約12 kg
取り付け穴ピッチ		VESA規格 100×100 mm

インターフェース		
入力	3G/HD/SD-SDI	4個(1系統) BNC (75 Ω) レセプタクル端子 3G-SDI : SMPTE 2048-2/274M/296/372/425-5/425-3/425-1/ 428-19/428-9準拠 HD-SDI : SMPTE 2048-2/274M/292-1/296/428-19/428-9準拠 SD-SDI : SMPTE-259M準拠
	HDMI	1個(1系統) Type A端子 コンテンツ保護規格 : HDCP 2.2
出力	3G/HD-SDI	4個(パススルー1系統)
	ヘッドホン	1個 ステレオミニジャック、適合インピーダンス 32 Ω～64 Ω
コントロール	USB	1個 USB A レセプタクル端子 Universal Serial Bus Specification Revision 2.0準拠LS (Low Speed)/FS (Full Speed)/HS (High Speed)モード対応 Enhanced Host Controller Interface Specification for Universal Serial Bus Revision 1.0準拠
	LAN	1個 RJ-45端子 IEEE802.3 10BASE-TX / IEEE802.3u 100BASE-TX準拠

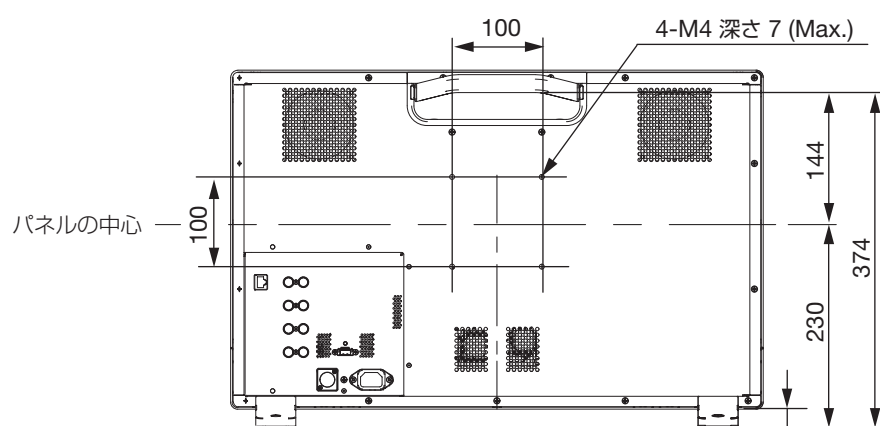
外形寸法

■ ディスプレイ本体

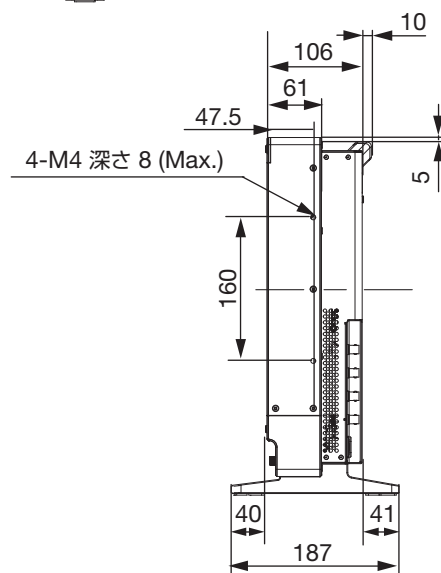
• 前面



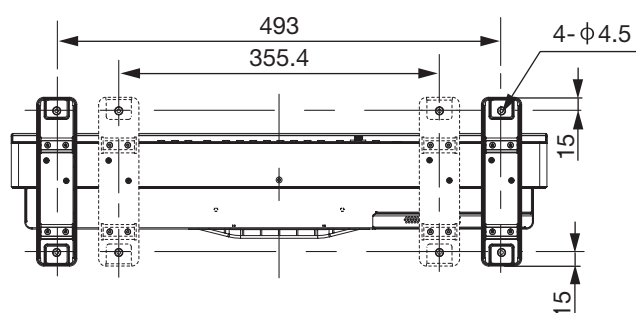
• 背面



• 側面



• 底面



単位：mm

対応信号フォーマット

■SDI

「*」は音声信号に対応しているフォーマットです。

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
SD-SDI	720x487i 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE-259M
	720x576i 50.00 Hz			
HD-SDI	1280x720P 59.94/60.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz*			
	1280x720P 29.97/30.00 Hz			
	1280x720P 25.00 Hz*			
	1280x720P 23.98/24.00 Hz*			SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz*			
	1920x1080i 50.00 Hz*			
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz*			
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz*			
	1920x1080P 25.00 Hz*			SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	1920x1080PsF 25.00 Hz*			
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz*			
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz*			
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz			
	2048x1080i 50.00 Hz			
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080P 25.00 Hz			
	2048x1080PsF 25.00 Hz			
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz			
	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz			
3G-SDI (Level A)	1280x720P 59.94/60.00 Hz*	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz*	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 25.00 Hz*	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 23.98/24.00 Hz*	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1920x1080P 59.94/60.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level A)	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB*	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB*	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level A)	2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'		
	4:2:2 YCbCr			
	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
4:2:2 YCbCr		12-bit	SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr*	12-bit	
	1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr*	12-bit	
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
Dual Link 3G-SDI (Level A)	1920x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 47.95/48 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 47.95/48 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Dual Link 3G-SDI Square Division (Level B)	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160PsF 29.97/30 Hz			
	3840x2160P 25 Hz			
	3840x2160PsF 25 Hz			
	3840x2160P 23.98/24 Hz			
	3840x2160PsF 23.98/24 Hz			
	4096x2160P 29.97/30 Hz			SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30 Hz			
	4096x2160P 25 Hz			
	4096x2160PsF 25 Hz			
	4096x2160P 23.98/24 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24 Hz			
Dual Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160P 25 Hz			
	3840x2160P 23.98/24 Hz			
	4096x2160P 29.97/30 Hz			SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25 Hz			
	4096x2160P 23.98/24 Hz			
Quad Link HD-SDI	3840x2160i 59.94/60.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 50.00 Hz*			
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz*			
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz*			
	3840x2160P 25.00 Hz*			
	3840x2160PsF 25.00 Hz*			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz*			
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz*			
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz			
	4096x2160i 50.00 Hz			
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160P 25.00 Hz			
	4096x2160PsF 25.00 Hz			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz			
				SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr*	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr*	12-bit	
	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB*	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB*	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	12-bit	
		4:4:4 YCbCr*	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB*	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr*		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level A)	3840x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 274M
	3840x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 47.95/48 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr*	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 47.95/48 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	

■ RAW

信号フォーマット
3840x2160P 59.94 Hz、50.00 Hz、29.97 Hz、25.00 Hz、24.00 Hz、23.98 Hz
4096x2160P 59.94 Hz、50.00 Hz、29.97 Hz、25.00 Hz、24.00 Hz、23.98 Hz

■ HDMI

信号フォーマット	カラーフォーマット/カラーデプス
640x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
800x600P 60.00 Hz	
1024x768P 60.00 Hz	
720x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
720x576P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
1280x720P 50.00 Hz	
1920x1080P 59.94/60.00 Hz	
1920x1080i 59.94/60.00 Hz	
1920x1080P 50.00 Hz	
1920x1080i 50.00 Hz	
1920x1080P 29.97/30.00 Hz	
1920x1080P 25.00 Hz	
1920x1080P 23.98/24.00 Hz	
2048x1080P 59.94/60.00 Hz	
2048x1080P 50.00 Hz	
2048x1080P 29.97/30.00 Hz	
2048x1080P 25.00 Hz	
2048x1080P 23.98/24.00 Hz	
3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
3840x2160P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 8-bit
	4:2:2 YCbCr 12-bit
	4:2:0 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
4096x2160P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 8-bit
	4:2:2 YCbCr 12-bit
	4:2:0 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit

画像・フレーム表示

■SDI

信号システム			表示のしかた	
720x487	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
720x576	50.00	i	50.00	P
1280x720	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
3840x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

信号システム			表示のしかた	
4096x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

*：フレーム2度描き

■ HDMI

信号システム			表示のしかた	
640x480	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
800x600	60.00	P	60.00	P
720x480P	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
720x576	50.00	P	50.00	P
1024x768	60.00	P	60.00	P
1280x720	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1280x720	50.00	P	50.00	P
1920x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	P	50.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
1920x1080	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
1920x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
1920x1080	25.00	P	50.00	P*
1920x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
2048x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	P	50.00	P
2048x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
2048x1080	25.00	P	50.00	P*
2048x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
3840x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
3840x2160	50.00	P	50.00	P
3840x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
3840x2160	25.00	P	50.00	P*
3840x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
4096x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
4096x2160	50.00	P	50.00	P
4096x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
4096x2160	25.00	P	50.00	P*
4096x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*

*：フレーム2度描き

エラーメッセージ

メッセージ		説明と対処法
キャリブレーション	外付けセンサーの初期化に失敗しました。	CA-310、CA-210の説明書をご覧ください。
	エラーが発生したため、キャリブレーションを終了しました。	- 外付けセンサーの設置や接続を確認し、キャリブレーションをし直してください(📖24)。 - CA-310、CA-210のマトリックス校正を行ってください(📖24)。
	キャリブレーションが終了しました。 (目標輝度より低い輝度で設定しました)	キャリブレーションの「ルミナンス」を再設定してください(📖45)。
	外付けセンサーの検出に失敗しました。 センサーの接続を確認してください。	外付けセンサーを本機のUSB端子に正しく接続してください。
ネットワーク	通信エラーが発生しました。	IPアドレスが重複している、またはネットワーク通信異常などの可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。
	IPアドレスが不正です。	正しいIPアドレスを入力してください。
	サブネットマスクが不正です。	正しいサブネットマスクを入力してください。
各種設定、CDLのエクスポート	USBメモリーの空き容量が不足しています。	別のUSBメモリーを接続するか、メモリー内の情報を削除してください。
	ファイルの書き込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
LUT、各種設定、CDLのインポート	(LUTインポート時)異なるLUTタイプのファイルです。 (CDLインポート時)異なるファイル形式です。	正しいファイル形式を選択してください。
	ファイルの読み込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	インポートに失敗しました。	インポートするファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	インポートファイルがありません。	USBメモリー、または「User 1-3」にインポートファイルが入っているかをご確認ください。
スクリーンキャプチャー	キャプチャーに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	無効な映像信号です。	無信号や、非対応の信号が入力されているなど、映像が表示されていない画面をキャプチャーしています。信号を確認後に再入力し、キャプチャーしてください。
	コピープロテクトされています。	キャプチャーしようとした信号は、HDMIのコピー保護規格HDCP 2.2でプロテクトされている可能性があります。この場合、キャプチャーはできません。HDMI信号をご確認ください。
	キャプチャーファイルの再生に失敗しました。	USBメモリーまたはファイルに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーまたはファイルをご確認ください。
	キャプチャーファイルがありません。	USBメモリーにキャプチャーファイルが入っているかをご確認ください。

メッセージ		説明と対処法
ハードウェア	バックライトの異常を検出しました。	電源コードをいったん抜いてから再度接続し、電源を入れてください。 それでもこのメッセージが表示される場合には、お客様相談センターにご相談ください。
	ファンの異常を検出しました。	
	パネルの異常を検出しました。	
	I/F部の異常を検出しました。	
	システムエラーを検出しました。	
	温度が高いため、ファンを停止できません。	本体内部の温度が高くなっています。電源を切ってファンが止まるまでしばらくお待ちください。
入力信号	無信号	映像信号が入力されていないときに表示されます。
	非対応信号	非対応の映像信号が入力されています。対応信号フォーマット(80)をご確認ください。
	入力設定とPayloadが異なっています。	「入力設定」(48)と「シグナルインフォメーション」(76)を確認し、設定が誤っている場合は「入力設定」を再設定してください。
操作	操作は無効です。	操作ができません。各設定項目をご確認ください。
	プロテクト設定中です。	OSDメニューを操作する場合には、「プロテクト」にフォーカスを移動させ、ジョグダイヤルを約3秒長押ししてください。
	CDL/User LUTバイパス設定中です。	「CDL/User LUTバイパス」が「オン」のときは、「Power」、「Saturation」、「Offset」、「Slope」の調整はできません。
	パスワードが不正です。	正しいパスワードを入力してください。
USBメモリー	USBメモリーが接続されていません。	USBメモリーを本機のUSB端子に正しく接続してください。
	非対応USBメモリーです。	USBメモリーのフォーマット種別やセキュリティがかかっていないかをご確認ください。
DC電源	DC入力電圧が低下しています。	DC電源の入力電圧が、約22.5 V未満になったことを示します。DC電源の電圧をご確認ください。
	DC入力電圧が低下しています。電源オフします。	DC電源の入力電圧が、約21.0 V未満になったことを示し、電源を切にします。23.5 V以上のDC電源を接続し、  ボタンで電源をいれてください。
	DC入力電圧が異常です。電源オフします。	DC電源の入力電圧が、約35.8 V以上になったことを示します。DC電源の入力電圧をご確認ください。

こんなときは

症状	原因と対処	
電源が入らない (電源ランプが点灯しない)	⏻ボタンを押してください。	11
	AC電源またはDC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。	19
	電源ランプの明るさがオフになっている可能性があります。オフ以外に設定してご確認ください。	71
画面が表示されない	電源ランプが点灯しない場合	11
	⏻ボタンを押してください。 - AC電源またはDC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。	19
	電源ランプが橙色に点灯している場合	11
	電源ランプが橙色に点滅している場合 - 点滅が3秒間に1回のとき：お客様相談センターにご相談ください。 - 点滅が3秒間に2回のとき： ⏻ボタンで電源を入れてください。 - 使用環境によっては、本体の温度が予想以上に高く(低く)なる場合があります。環境条件(📖 77)をご確認ください。 - また、直射日光が当たらないようにしてください。 - それでも電源が入らない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	11 77
DC電源使用時に電源が急に切れる	ご使用のDC電源によっては、しきい値になると電圧を0にする機種があります。その場合、電圧の低下を示すメッセージは表示されません。充電されたDC電源またはAC電源を接続してください。	—
希望の画像が表示されない	入力信号に合わせて、「チャンネル設定」の各項目を適切に設定してください。	48
3G-SDI RAW信号の映像が表示されない	CINEMA EOS SYSTEMカメラの機種により、3G-SDI RAW信号の映像を表示できない場合があります。対応製品については、キヤノンのホームページでご確認ください。	—
Quad Input/Dual Inputのときに、表示されないエリアがある	信号が入力されていない可能性があります。インターフェース部にある表示エリアアイコンで、入力エリアと信号ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。	17
	端子ごとに異なる解像度、周波数の信号が入力されている可能性があります。信号をご確認ください。	76
画面が明るすぎる／暗すぎる	- OSDメニューの「コントラスト」を調整してください。 - 液晶ディスプレイのバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになった場合には、お客様相談センターにご相談ください。	38
焼き付きが現れる	この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをお勧めします。	—

症状	原因と対処	
画面に点灯しないドットがある、または赤、青、緑、白のドットがある	液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。	—
画面上に干渉縞が見られる／液晶パネルを押したあとが消えない	画面全体に白い画像または黒い画像を表示してください。症状が解消されることがあります。	—
OSDメニューが操作できない	「設定プロテクト」が設定されていないことをご確認ください。	72
「アスペクトマーカ―」、「セーフティゾーンマーカ―」、または「エリアマーカ―」が表示されない	無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択している可能性があります。信号をご確認ください。	76
「カメラリンク」の「ファン」を「オン」、または「ファン停止」を「オン」にしているのに、ファンが回転を始める	AC電源使用時の停止時間は約1分です。長く停止させたい場合は、DC電源をご使用ください。	69
	「カメラリンク」の「ファン」を「オン」にしているとき、停止時間はカメラと一致しない場合があります。	72
「カメラリンク」の「ファン」を「オン」、または「ファン停止」を「オン」にしたのに、ファンが停止しない	本機の内部温度が高い場合、ファンは停止しません。内部温度が下がってから、設定してください。	69
	高温下など周囲の環境によっては、ファンが停止しない場合があります。使用温度(77)以下でご使用ください。	72
「設定プロテクト」のパスワードを忘れた	本機がスタンバイ状態のとき、ジョグダイヤルとボタンを押してください。パスワードが未設定状態にリセットされます。	11
電源を入れたとき、前回電源を切ったときの状態で起動しない	OSDメニューの「パワーオン設定」をご確認ください。「ラストメモリー」に設定すると、前回電源を切ったときの状態で起動します。	73
「ピクチャーモード」のUserモードの画質がプリセットの画質と異なる	「ピクチャーモードコピー」でプリセットモードを選択し、設定内容をコピーしてください。	45
左右の画面の画質が異なる	「チャンネル設定」→「ピクチャーモード R」の設定をご確認ください。	50
同一の映像が2画面に表示される	「チャンネル設定」→「1入力 Dual View」の設定をご確認ください。	50

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

■保証書

本機には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

アフターサービス期間について

ディスプレイのアフターサービス期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種への本機交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

修理について

■修理に出すまえに

ご自身で変更した各種設定については、修理の前に必ずUSBメモリーにバックアップしてください(173)。なお、修理によって設定がリセットされた場合の補償についてはご容赦ください。

■修理のお問い合わせは

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006 (全国共通)

平日：9:00 ～ 17:00

土日祝日と年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法(宅配便発送)やお届けについてご案内いたします。

本機で使用しているソフトウェアについて

本機に組み込まれているソフトウェアは、当社または第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約条項およびその他の準拠法によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License v2(以下、GPL)、GNU Lesser General Public License v2.1(以下、LGPL)またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。

本機に組み込まれているフリーソフトウェアモジュール

- | | | | |
|-----------------|----------------|-----------|-----------|
| • linux kernel | • busybox | • glibc | • JFFS2 |
| • SquashFS | • FUSE | • libfuse | • libupnp |
| • avahi-autoipd | • libxml | • zlib | • libpng |
| • Newlib(libc) | • Newlib(libm) | | |

フリーソフトウェアのソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアモジュールを配布する条件として、そのモジュールのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPL、およびその他のライセンス契約の確認方法については、製品をお買い上げいただいた販売会社にお問い合わせください。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアモジュールには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そのライセンス表示を、以下に提示します。

■libupnp License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT,

INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■libxml License

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VAILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

■Newlib(libc) License

Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c) 1991, 2000 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■Newlib(libm) License

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

索引

番号	
1入力 Dual View	50
2 Sample Interleave	48
3G/HD/SD-SDI	12、17
3G-SDI RAW	12
5 Step(テストパターン)	65
200%(スクリーンスケール)	52
2020 709色域外表示	66
2020 ガマットマッピング	44
2020 コンスタントルミナンス	44

A	
ACESproxy	38
Adobe RGB	38

C	
Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3	39
CDL/User LUTバイパス	43
CDLエクスポート/インポート	28
CINEMA EOS SYSTEM(ピクチャーモード)	38
Cinema Gamut to 709	39
Cinema Gamut to 2020	39
Cinema Gamut to DCI	39

D	
DCI-P3	38
DCI-P3+ to 709	39
DCI-P3+ to DCI	39
Dual Input	48
Dual Link 3G-SDI	48

E	
EBU	38

G	
Gamma LUT	39
Gamut LUT	39

H	
HDMI	12、18
HDR/SDR比較表示	45
HDRレンジ	41、61
HD-SDI	12、17
Hybrid Log-Gamma	39

Hybrid Log-Gamma System	45
-------------------------	----

I	
Image Division	48
Input Transform	42
IPアドレス取得	71
I/PsF	54
I/P変換	54
ITU-R BT.709	38
ITU-R BT.1886	39
ITU-R BT.2020	38

L	
LAN	12
LTC	62
LUTインポート	26、44

M	
MACアドレス	76
Marker/TC/WFM/VEC端子	49
Multi View (Dual)	48
Multi View (Quad)	48

N	
Native Input Resolution (スクリーンスケール)	52

O	
Offset	43
OSD一時消去	70
OSDサイズ	66
OSDポジション	66
OSDメニュー	20、32
Output Transform	42
Output Transform Surround	42

P	
PLUGE(テストパターン)	65
Power	43
Preset Gamut	39
Preset Log	39
PsF	54

Q	
Quad Input	48
R	
Ramp(テストパターン)	65
S	
Saturation	43
Single Input	48
Slope	43
SMPTE-C	38
Square Division	48
U	
USB	11、24、26
User 1-7	38
User LUT	43
V	
VITC	62
Y	
YCbCr カラーマトリクス	44
ア	
アスペクトマーカ―	56
アナモフィック	52、68
色温度	39
インターナルシンク	49
インモニターディスプレイ	71
エクスポート／インポート	27、73
エリアマーカ―	59
エリアマーカ―(カメラリンク)	68
オーディオ設定	55
オーディオレベルメーター	65
音声端子	49
カ	
各種ファンクション(ファンクション設定)	66
画質設定	38
画質設定アンカー	23、45
画質設定リセット	46
画質優先	54
カスタム(xy) (色温度)	39
カメラインフォメーション	69
カメラリンク	67
カラーガマット	39

カラーバー(テストパターン)	65
カラーレンジ	42
ガンマ	39
キャリブレーション	24、45
グリーンオフ	66
グリーン(テストパターン)	65
グリッドマーカ―	60
グレー(20%) (テストパターン)	65
グローバルディミング	38
クロマ	38
ゲインR/G/B	39
言語	70
互換設定	72
コントラスト	38

サ	
サブネットマスク	71
シェーブトレース	53
シグナルインフォメーション	76
システムインフォメーション	76
システム設定	70
自動画質設定(ARRI)	68
自動画質設定(CINEMA EOS)	67
シャープネス	38
詳細設定	
CDL	43
画質設定	44
使用時間	76
シリアルNo.	76
ズーム	53
スクリーンキャプチャー	66
スクリーンスケーリング	52
スケーリング法	53
セーフティゾーンマーカ―1、2	57
設定種別	27、73
設定プロテクト	72
セパレーター	50
セレクトチャンネル	48
全設定リセット	73
センターマーカ―	60
速度優先	54

タ	
タイムコード	62
チャンネル設定	48
チャンネル名	29、49

ディスプレイ設定	52
ディスプレイチャンネル	70
ディスプレイファンクション／	
ディスプレイファンクション(CDL)	70
ディスプレイ名	29、71
テストパターン	65
電源ランプ 明るさ	71
電源ランプ／本体ボタンLED設定	71

ナ

ニアレストネイバー	53
日時	28、70
入力信号選択	48
入力設定	48
ネットワーク	71
ネットワーク/IMD設定	71

ハ

バイアスR/G/B	39
バイキュービック	53
波形モニター	63
パスワード	72
バックグラウンドカラー	54
バックライトコントロール	38
バックライトスキャン	66
バナー表示	66
パワーオン設定	73
ピーキング	61
ピクチャーモード	38、50
ピクチャーモード R	24、50
ファームウェアVer.	76
ファン(カメラリンク)	69
ファンクション設定	61
ファンクション／チャンネルボタン	70
ファンクションボタンガイド	66
ファン設定	72
フィルムケイデンス	54
ブースト(コントラスト)	44
フォーマット	49
フォルスカラー	61
ブライトネス	38
ブラック(テストパターン)	65
ブルーオフ	66
ブルーオンリー	66
ブルー(テストパターン)	65
フレームホールド	54

ベクトルスコープ	64
ホワイト(テストパターン)	65
本体ボタン 点灯時間	71
本体ボタン 点灯設定	71

マ

マーカー設定	56
マーカープリセット	56
モノクロ	66

ラ

ルミナンス	45
レッドオフ	66
レッド(テストパターン)	65
ローカルディミング	38

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006(全国共通)

平日：9:00 ～ 17:00

※土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用いただけない方は、03-5428-1208にお問い合わせください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらないことがあります。

キヤノン 動画ディスプレイホームページ

動画ディスプレイホームページを開設しています。

最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

キヤノン 動画ディスプレイ製品情報

canon.jp/v-display

キヤノン サポートページ

canon.jp/support

■保証書は必ず「購入店・購入日」などの記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は、2017年4月現在のものです。

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の情報および説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6